

SONY®


3-858-838-01(1)

# ミニディスクデッキ

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



*MDS-J3000*

## 安全上のご注意

### 電源について

- 家庭用電源コンセント(AC100ボルト)でお使いください。本機は国内用ですので、海外ではお使いになれません。
- 電源コードは無理に曲げたり、重いものを載せたりしないでください。傷のついたコードは火災や感電の原因になりますので、お使いにならないでください。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。
- 長い間お使いにならないときは、電源コードをコンセントから必ず抜いてください。

### 安全にお使いいただくために

- キャビネットは絶対にはずさないでください。内部に手を触れると感電することがあり、大変危険です。
- 内部に液体をこぼしたり、燃えやすいものや金属などを落とすと、火災や感電、故障の原因になります。
- キャビネットの上に直接物を載せないようにしてください。本機は使用中に内部の温度がかなり上昇します。物を載せると、変形などの原因になることがあります。



### 異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたときは、すぐに電源を切り、電源コードを必ずコンセントから抜いて、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

正常な使用状態で本製品に故障が生じた場合、当社は本製品の保証書に定められた条件に従って修理を致します。ただし、本製品の故障、誤動作または不具合により、録音、再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

## この取扱説明書の使いかた

- 「準備」(4~6ページ)をご覧になって接続などの準備を済ませてください。
- 基本的な使いかたは、「MDに録音する」と「MDを再生する」(7~9ページ)をご覧ください。
- この取扱説明書では、主に本体での操作のしかたを説明しています。
- リモコンでは、本体と同じ表示のボタンを使って、同様に操作できます。本体とリモコンのボタン表示が違う場合は、リモコンでの操作を( )で説明しています。  
例)AMSつまみを右に回す。(リモコンでは▶ボタンを押す。)
- この取扱説明書では、次の記号を使っています。

記号	意味
	リモコンで操作します。
	知っているると便利な情報です。

# 目次

<hr/>	
準備	
箱から出したら .....	4
接続する .....	4
時計を合わせる .....	6
<hr/>	
MDに録音する .....	7
MDを再生する .....	9
<hr/>	
いろいろな録音のしかた	
録音するときのご注意 .....	10
録音するとき便利な機能 .....	10
録音済みの曲を消しながら録音する .....	12
録音レベルを調節する .....	12
録音中に曲番を付ける(トラックマーキング機能) .....	13
2秒前の音から録音する(タイムマシン録音) .....	13
好きな音源をシンクロ録音する(ミュージックシンクロ録音) .....	14
シンクロ録音する(CDシンクロ録音) .....	15
タイマーを使って録音する .....	16
<hr/>	
いろいろな再生のしかた	
表示窓の使いかた .....	17
聞きたい曲を探す(AMS/ダイレクト選曲/ミュージックスキャン) .....	18
曲の中の聞きたい部分を探す(サーチ) .....	19
繰り返し聞く(リピート再生) .....	19
順不同に聞く(シャッフル再生) .....	20
聞きたい曲を好きな順に聞く(プログラム再生) .....	21
テープへ録音するとき便利な機能 .....	22
タイマーを使って再生する .....	22
<hr/>	
録音したMDを編集する	
編集するときのご注意 .....	23
曲を消す(ERASE機能) .....	23
1曲中の一部分を消す(A&B Erase) .....	24
曲を分ける(DIVIDE機能) .....	26
曲をつなぐ(COMBINE機能) .....	27
曲を移動する(MOVE機能) .....	28
曲名やディスク名を付ける(TITLE機能) .....	28
最後に行った編集操作を取り消す(UNDO機能) .....	31
<hr/>	
その他	
使用上のご注意 .....	32
MDの取り扱いかた .....	32
メッセージ表示一覧 .....	33
システム上の制約について .....	33
故障かな?と思ったら .....	34
保証書とアフターサービス .....	34
主な仕様 .....	35
各部のなまえ .....	36
デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて .....	37
<hr/>	
索引 .....	39

準備

## 箱から出したら

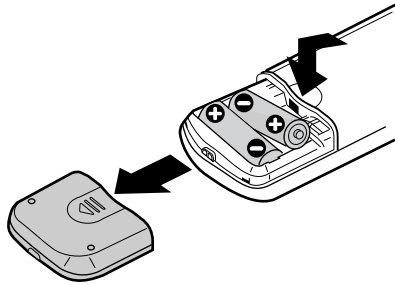
次の付属品がそろっているかを確認してください。

- オーディオ接続コード  
(ピンプラグ×2←ピンプラグ×2)(2)
- リモコン RM-D3000M(1)
- ソニー乾電池 SUM-3(NS)(2)
- ソニーサービス窓口・ご相談窓口のご案内(1)
- 保証書(1)

もし、付属品がそろっていないときは、お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

## リモコンに電池を入れる

⊕と⊖の向きを合わせて、単3形乾電池(付属)2個を入れる。



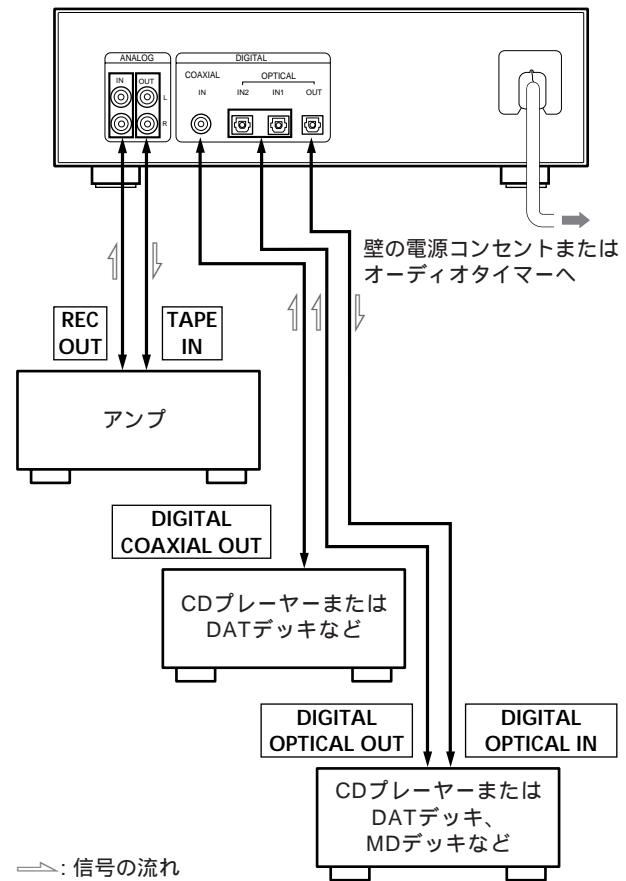
**💡** 乾電池の寿命は約6か月です  
残りが少なくなると、リモコンで操作できる距離が短くなります。これを目安にして、2個とも新しい乾電池に交換してください。

### ご注意

- 乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。
  - ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
  - 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
  - 乾電池は充電しないでください。
  - 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
  - 液もれしたときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。
- リモコンを使うときは、リモコン受光部に直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。リモコンで操作できないことがあります。

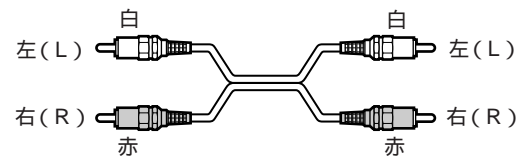
## 接続する

アンプ、CDプレーヤー、DATデッキなどとMDデッキをつなぎます。接続するときは、各機器の電源を必ず切ってください。

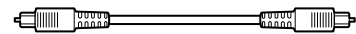


### 1 必要な接続コードを用意する。

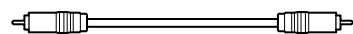
- オーディオ接続コード(付属)(2)



- 光デジタル接続ケーブルPOC-15Aなど(別売り)(3)

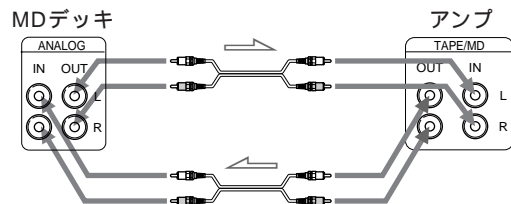


- 同軸デジタル接続ケーブルVMC-10Gなど(別売り)(1)



## 2 つなぐ。

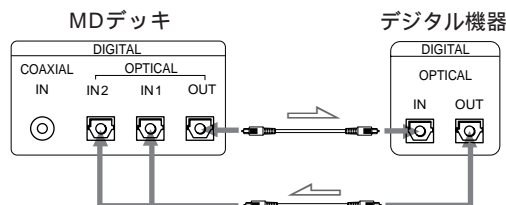
アンプにつなぐとき  
オーディオ接続コード(付属)を使います。  
白(L)端子には白プラグを、赤(R)端子には赤プラグをつなぎます。つなぐときはプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。



⇒: 信号の流れ

デジタル機器につなぐとき  
(CDプレーヤーやDATデッキ、他のMDデッキ、光デジタル入出力端子のあるアンプなど) CDやMD、DATなどにつなぐと、デジタル録音できます。光デジタル接続ケーブルPOC-15Aなど(別売り)または同軸デジタル接続ケーブルVMC-10Gなど(別売り)を使います。

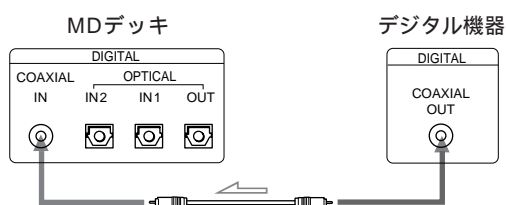
- 光デジタル接続ケーブルを使うとき  
端子についているキャップを抜いてから、プラグをしっかり差し込みます。



OPTICAL IN1または  
IN2端子へ

⇒: 信号の流れ

- 同軸デジタル接続ケーブルを使うとき



⇒: 信号の流れ

- 本機には、サンプリングレートコンバーターが搭載されています。  
すべてのデジタル入力信号を、MDのサンプリング周波数(44.1kHz)に変換して録音します。  
したがって、CD、MDだけではなく、サンプリング周波数の異なるDAT(32kHz、48kHz)、衛星放送(32kHz、48kHz)などを本機でデジタル録音できます。

## ご注意

- デジタル録音できないときは、「Din Unlock」または「Cannot Copy」が表示されます。このときは、ANALOG IN端子につなぎ、INPUTスイッチを「ANALOG」に合わせて録音してください。
- 光デジタル接続ケーブルまたは同軸デジタル接続ケーブルを使って(デジタル)録音するときは、録音レベルを調節できません。

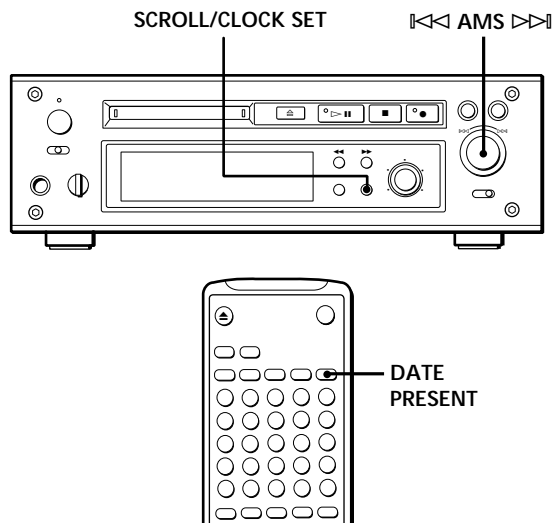
## 3

電源コードをコンセントにつなぐ。  
壁の電源コンセントまたはオーディオタイマーにつなぎます。

## 準備

## 時計を合わせる

本機には時計が内蔵されています。あらかじめ時計を合わせておけば、ディスクに録音日時が自動的に記録されます。再生するときに録音日時を確認できます(18ページ)。



より正確な録音日時を記録したいときは、週に1度の割合で時計を合わせてください。

## ご注意

「STANDBY」が点滅しているときは、長い間、電源プラグをコンセントから抜いたままにしておいたので、合わせた時計が消えてしまいました。再び時計を合わせ直してください。

## 時計を見る

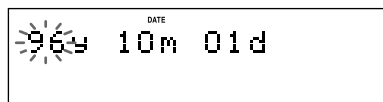
電源が入っている、切れているにかかわらず、時計を見ることができます。

DATE PRESENTボタンを押す。  
押すたびに、時計の表示が次のように変わります。  
DATE PRESENTボタンを1回押すと、日付と時刻が約2秒ずつ表示されて、もとの表示に戻ります。

→ ボタンを押す前の表示 → 日付 → 時刻 →

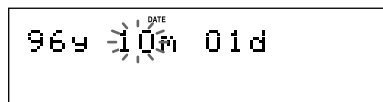
本体を操作して時計を見ることができます。  
電源が切れているときに、SCROLL/CLOCK SETボタンを押します。押すたびに上記の順で表示されます。

- 1 電源が切れているときに(POWERランプが赤点灯中)表示窓の「年」の部分(pointing to the year)が点滅するまで(約2秒間)SCROLL/CLOCK SETボタンを押したままにする。



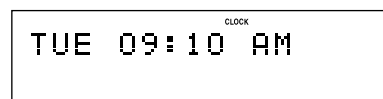
- 2 AMSつまみを回して「年」を合わせてから、AMSつまみを押す。

「年」の部分(pointing to the year)が点灯になり、「月」の部分(pointing to the month)が点滅します。



- 3 手順2と同様にAMSつまみを使って、「月」、「日」、「時」、「分」の順に合わせる。

時計が動き始めます。

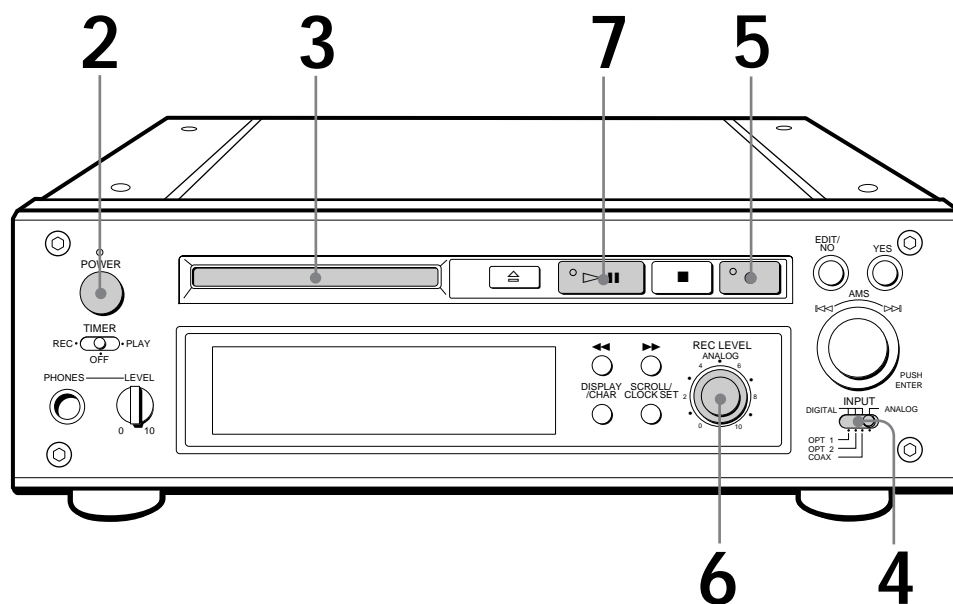


## 時計を合わせ直す

- 1 電源が切れているときに(POWERランプが赤点灯中)表示窓の「年」の部分(pointing to the year)が点滅するまで(約2秒間)SCROLL/CLOCK SETボタンを押したままにする。
- 2 表示窓の変更したい部分(pointing to the part to be changed)が点滅するまで、AMSつまみを繰り返し押す。
- 3 AMSつまみを回して合わせる。
- 4 合わせ終わったら、AMSつまみを押す。時計が再び動き始めます。

ここだけ読んでも使えます

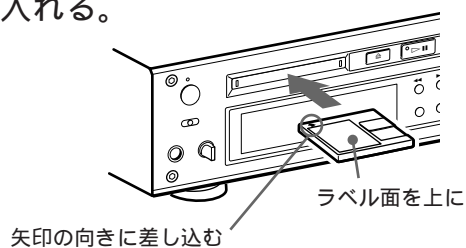
# MDに録音する



**1** 録音したい音源とアンプの電源を入れ、アンプでその音源を選ぶ。

**2** 電源を入れる。  
POWERランプが赤から緑の点灯になります。

**3** 録音用MDを入れる。



途中で録音してあるMDのときは、録音済み部分の終わりから続けて録音されます。

**4** INPUT(入力)スイッチを、録音したい音源に合わせる。

音源がつながっている端子	INPUTスイッチを合わせる位置
DIGITAL OPTICAL IN1	OPT 1
DIGITAL OPTICAL IN2	OPT 2
DIGITAL COAXIAL IN	COAX
ANALOG IN	ANALOG

**5** ●(録音)ボタンを押す。  
まだ録音は始まりません(録音待機状態)

(次ページへ続く)

ここだけ読んでも使えます

ここだけ読んでも使えます

「TOC」が点滅しているときは録音した内容をMDに記録しているので、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機をゆらしたりしないでください。正しく録音されないことがあります。

**6** 手順**4**で「ANALOG」に合わせたときは、録音レベルを調節する。

REC LEVEL(録音レベル)つまみの目盛り4ぐらいが目安です。録音レベルをより正確に合わせたいときは、12ページをご覧ください。

**7** ▷■(再生/一時停止)ボタンを押す。

(リモコンでは▷または■ボタンを押します。) 録音が始まります。

**8** 録音したい音源の演奏を始める。

止めるときは ■(停止)ボタンを押す。

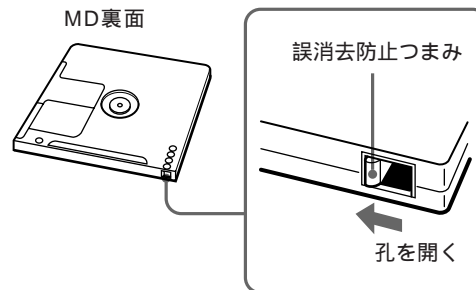
録音を終えたあとすぐに、電源プラグを電源コンセントから抜いて電源を切らないでください。  
正しく録音されないことがあります。MDを取り出すか、またはPOWERスイッチを押すと、「TOC」が点滅します。「TOC」の点滅が終わってから電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

その他の操作

こんなときは	操作のしかた
一時停止する*	▷ ■ボタンを押す。(リモコンでは■ボタンを押す。) もう一度押すと、再び録音が始まる。
MDを取り出す	⊃(MD取り出し)ボタンを押す。

\* 録音を一時停止すると、曲番は変わります。例えば、4曲目を録音中に一時停止したあと、再び録音を始めると、そこからは5曲目として録音されます。

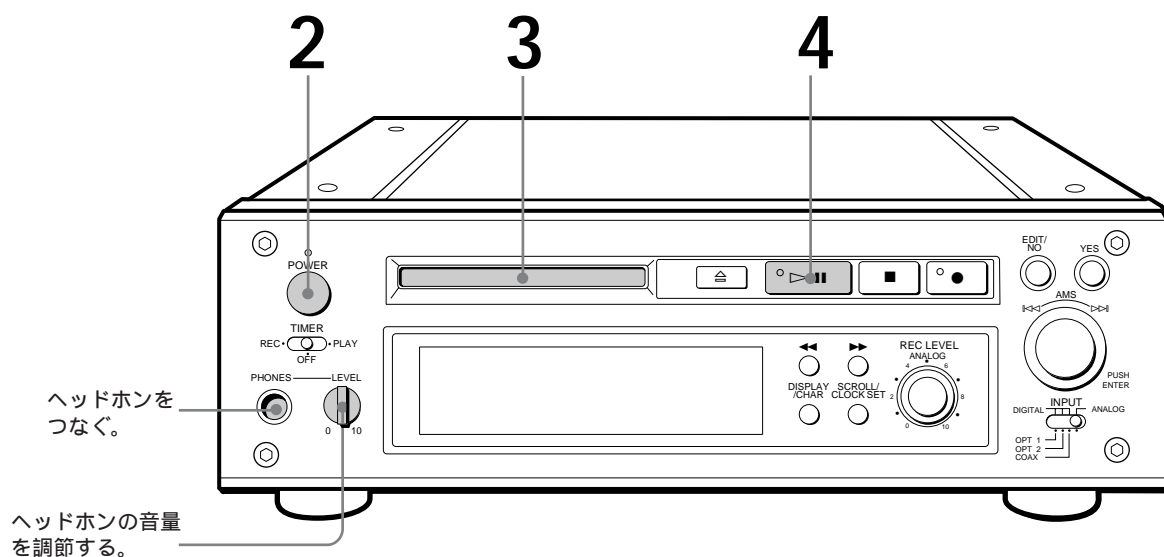
録音内容を間違えて消さないために  
誤消去防止つまみをずらして、孔が開いた状態にします。  
再び録音するときは、つまみを元に戻します。





ここだけ読んでも使えます

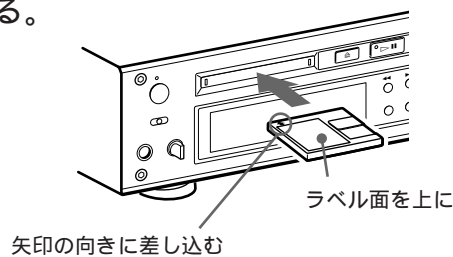
# MDを再生する



**1** アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでMDを選ぶ。

**2** 電源を入れる。  
POWERランプが赤から緑の点灯になります。

**3** MDを入れる。



**4** ▷ **▶▶**ボタンを押す。  
(リモコンでは▷ボタンを押します。)  
再生が始まります。  
アンプで音量を調節します。



手順4で、曲番を選んで再生を始めることができます。

- 1 再生したい曲番が表示されるまで、AMSつまみを回します。  
(リモコンでは◀◀または▶▶ボタンを押します。)
- 2 AMSつまみまたは▷ **▶▶**ボタンを押します。  
(リモコンでは▷ボタンを押します。)

こんなときは	操作のしかた
再生を止める	■ボタンを押す。
一時停止する	▷ <b>▶▶</b> ボタンを押す。(リモコンでは■ボタンを押す。) もう一度押すと、再び再生が始まる。
次の曲へ進む	AMSつまみを右に回す。 (リモコンでは▶▶ボタンを押す。)
前の曲へ戻る	AMSつまみを左に回す。 (リモコンでは◀◀ボタンを押す。)
MDを取り出す	◻ボタンを押す。

ここだけ読んでも使えます

## いろいろな録音のしかた

### 録音するときのご注意

「Protected」が表示されたときはMDが誤消去防止状態になっています。誤消去防止つまみをずらして、孔が閉じた状態にすれば録音できます(「録音内容を間違っただけのために」8ページ)。

「Din Unlock」が点滅したときは

- INPUTスイッチで選択したデジタル音源が正しくつながっていません。音源を正しくつないでください。
- 音源の電源が入っていません。音源の電源を入れてください。

録音したい音源によって曲番の付きかたが異なります

- CDまたはMDが音源で、INPUTスイッチをデジタル入力に合わせて録音する場合：  
曲番は、音源のCDやMDと同じように付きます。ただし、次のようにして録音した部分に対して、曲番が1つしか付かないことがあります。  
同じディスクの同じ曲を繰り返して(1曲リピートなどで)録音した部分  
違うディスクの同じ曲番を続けて録音した部分  
また、MDが音源のときは、4秒以下の曲には曲番が付かないことがあります。
- 「LEVEL-SYNC」が点灯していないときに、INPUTスイッチを「ANALOG」、または、DATや衛星放送などが音源でINPUTスイッチをデジタル入力に合わせて録音する場合：  
録音した部分全体で1曲として扱うため、曲番は1つしか付きません。  
曲番は、録音中または録音後に好きなところで付けることができます。また、アナログ録音、DATや衛星放送などのデジタル録音中でも「LEVEL-SYNC」が点灯していれば自動で付けることができます(「録音中に曲番を付ける」13ページ、「曲を分ける」26ページ)。
- DATや衛星放送が音源で、INPUTスイッチをデジタル入力に合わせて録音するときは、入力信号のサンプリング周波数が変わると、曲番が自動的に変わります。

「TOC」が点滅しているときは

録音した内容をMDに記録しているため、電源プラグをコンセントから抜いたり、本機をゆらしたりしないでください。正しく録音されないことがあります。録音のあとすぐに電源プラグを抜くと、録音した内容を記録できません。

本機はシリアルコピーマネージメントシステムに準拠しています  
デジタル録音したMDをさらにデジタル録音することはできません(37ページ)。

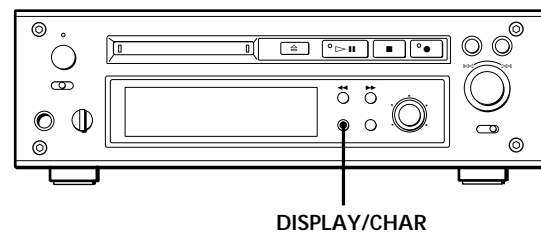
本機に入力しているデジタル信号にエンファシス(高域を強調する処理)がかかっているときは本機はデジタル信号のまま自動的にディエンファシス(強調してある量と同じ量だけ高域を減衰)させて録音します。表示窓のピークレベルメーターは、ディエンファシスした信号のレベルを表示します。

本機のDIGITAL OPTICAL OUT端子は、録音中または録音待機中にはデジタル入力端子から入力される信号をそのまま出力します

本機に内蔵のサンプリングレートコンバーターだけを使うときは、インプットモニター機能(11ページ)をお使いください。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。  
(お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会  
Tel. 03-3506-8407)

### 録音するとき便利な機能



#### MDの残り時間を調べる

DISPLAY/CHARボタンを押す。  
(リモコンではDISPLAYボタンを押します。)  
停止中：押すたびに全録音時間 残り時間 ディスク名と表示が切り換わります(17ページ)。  
録音中：押すと残り時間が表示されます。

## いろいろな録音のしかた


### 各入力端子の音をモニターする (インプットモニター機能)

録音を実行せずに、各入力端子に入力している信号を各出力端子でモニターできます。

- 1 合ボタンを押してMDを取り出す。
- 2 INPUTスイッチを、モニターする入力信号に合わせる。
  - ・ INPUTスイッチを「ANALOG」に合わせるとANALOG IN端子に入力しているアナログ入力信号が、A/D変換されてDIGITAL OPTICAL OUT端子に出力されます。さらに、D/A変換されてANALOG OUT端子とPHONES端子に出力されます。
  - ・ INPUTスイッチをデジタル入力に合わせるとDIGITAL OPTICAL IN1、2またはDIGITAL COAXIAL IN端子に入力しているデジタル入力信号が、サンプリングレートコンバーターを通過してDIGITAL OPTICAL OUT端子に出力されます。さらに、D/A変換されてANALOG OUT端子とPHONES端子に出力されます。
- 3 ●ボタンを押す。  
INPUTスイッチが「ANALOG」のときは「AD - DA」、デジタル入力のときは「- DA」と表示されます。

### 「Auto Cut」が表示されたときは (オートカット機能)

INPUTスイッチをデジタル入力に合わせて(デジタルの入力端子につないである音源の)録音中、30秒の無音部分が続いたので、本機は録音一時停止状態になりました。このとき、曲間の約3秒を残して、あとの無音部分は自動的に消えます。

-  オートカット機能をやめることができます。ただし、オートカット機能とスマートスペース機能の両方が動かなくなります。詳しくは次のスマートスペース機能をご覧ください。

### 「Smart Space」が表示されたときは (スマートスペース機能)

INPUTスイッチをデジタル入力に合わせて(デジタルの入力端子につないである音源の)録音中、30秒以内の無音部分が続いたあと、信号が再び入力されました。このとき、本機は録音状態のまま曲間の約3秒を残して、あとの無音部分を自動的に消して録音します。ただし、この曲間の約3秒の前後で、曲番が変わらないことがあります。

スマートスペース機能とオートカット機能をやめるときは

- 1 録音待機中、「S. Space ?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを押します。
- 2 YESボタンを押します。
- 3 EDIT/NOボタンを押して、「S. Space OFF」を表示させます。

スマートスペース機能とオートカット機能を使うときは

- 1 録音待機中、「S. Space ?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを押します。
- 2 YESボタンを2回押して、「S. Space ON」を表示させます。

ご注意

- ・ スマートスペース機能とオートカット機能のどちらか一方だけを働かせるようにすることはできません。
- ・ お買い上げ時は、スマートスペース機能とオートカット機能が働くようになっています。
- ・ 本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしたときは、次に電源を入れると、最後のスマートスペース機能とオートカット機能の設定(ONまたはOFF)が記憶されています。

### 録音した曲を確認する

曲番を指定しなくても、今録音した曲の最初からすぐに再生して確認できます。

録音を止めたあと、すぐに▷ ■ボタンを押す。  
(リモコンでは▷ボタンを押します。)  
今回録音を始めた最初の曲から再生します。

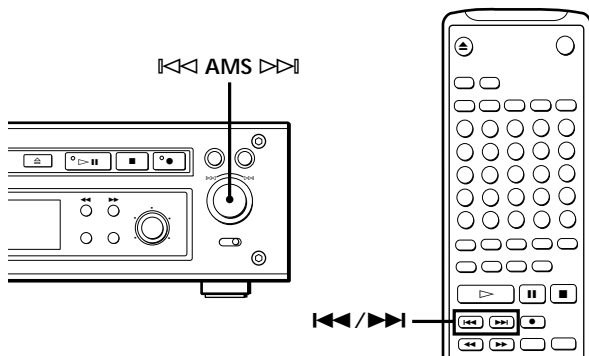
録音したあと、MDの最初から再生するときは

- 1 停止中に、もう1回■ボタンを押します。
- 2 ▷ ■ボタンを押します。  
(リモコンでは▷ボタンを押します。)  
MDの最初の曲から再生します。

## いろいろな録音のしかた

### 録音済みの曲を消しながら録音する

アナログのオーディオカセットテープのように、録音済みの曲を消しながら、その上に録音できます。



- 1 「MDに録音する」(7、8ページ)の手順**1**～**4**を行う。
- 2 消しながら録音する曲の曲番が表示されるまで、AMSつまみを回す。(リモコンでは◀◀または▶▶ボタンを押します。)
- 3 「MDに録音する」(7、8ページ)の手順**5**～**8**を行う。

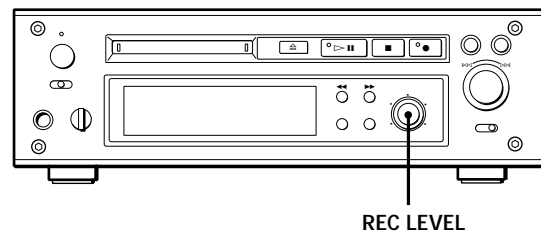
💡 「TRACK」が点滅しているときは録音済みの部分を消しながら録音しています。MDの空き(録音済みでない)部分に録音しているときは、「TRACK」が点灯しています。

- 💡 曲の途中からも録音できます。
- 1 手順**2**のあとで、▶▶ボタンを押して、途中から録音したい曲を再生します。(リモコンでは▶▶ボタンを押します。)
  - 2 録音を始めたところで、▶▶ボタンを押します。(リモコンでは▶▶ボタンを押します。)
  - 3 「MDに録音する」(7、8ページ)の手順**5**～**8**を行います。

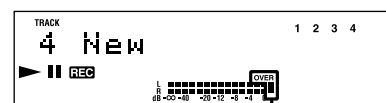
ご注意  
表示窓に「PROGRAM」または「SHUFFLE」が点灯しているときは、曲の途中から録音できません。

### 録音レベルを調節する

INPUTスイッチを「ANALOG」に合わせて(ANALOG IN端子につないである音源を)録音するときは、録音を始める前に録音レベルを調節します。デジタル録音では録音レベルを調節できません。



- 1 「MDに録音する」(7、8ページ)の手順**1**～**5**を行う。
- 2 録音したい音源の一番大きい音の(再生レベルの一番高い)部分を演奏する。
- 3 REC LEVELつまみを回して録音レベルを調節する。  
一番大きい音のときのピークレベルメーターの赤(OVER)が点灯しないように合わせます。(時々、点灯する程度なら実用上、問題ありません。)
- 4 いったん、録音したい音源の演奏を止める。
- 5 録音を始めるときは、「MDに録音する」(7、8ページ)の手順**7**から行う。

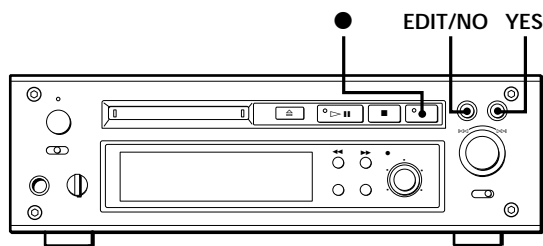


ここが点灯しないように

## 録音中に曲番を付ける

(トラックマーキング機能)

録音中に曲番を付けるには、自分で付ける方法と自動で付ける方法の2通りあります。曲番を付けておくと、再生時の頭出しをするときや、編集するときなどに便利です。



### 自分で付ける

(マニュアルトラックマーキング)

録音中いつでも曲番を付けることができます。

録音中、好きなところで●ボタンを押す。

### 自動で付ける

(オートトラックマーキング)

録音したい音源がCDまたはMDで、INPUTスイッチをデジタル入力に合わせてある(デジタルの入力端子につないである音源がCDまたはMDの場合)場合とそうでない場合とで異なります。

- 録音したい音源がCDまたはMDで、INPUTスイッチをデジタル入力に合わせてある場合  
曲番は自動的に付きます。
- 上記以外の場合  
表示窓の「LEVEL-SYNC」が点灯していると、曲番は、録音したい音源の入力信号がある一定のレベル以下になって、次にそのレベルを超える入力信号が入ってきたときに、自動的に付きます。「LEVEL-SYNC」が点灯していないときは、次の操作をしてください。

- 録音または録音待機中、「LevelSync ?」が表示されるまでEDIT/NOボタンを押す。
- YESボタンを2回押して、「LevelSync ON」を表示させる。「LEVEL-SYNC」が点灯します。

オートトラックマーキングをやめるときは

- 録音または録音待機中、「LevelSync ?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを押します。
- YESボタンを押します。
- 「LevelSyncOFF」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを押します。

💡 録音後に曲番を付けることができます。編集操作で曲を分けると、曲番が1番ずつ加算されて記録されます(「曲を分ける」26ページ)。

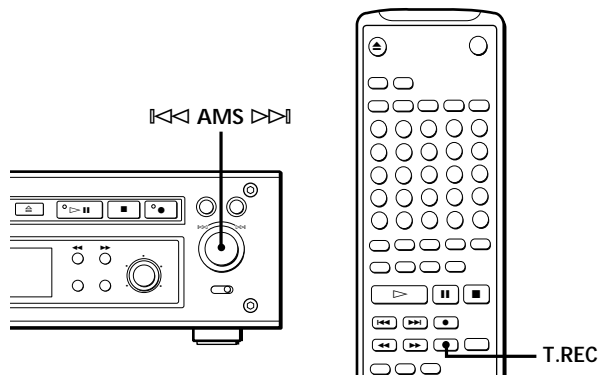
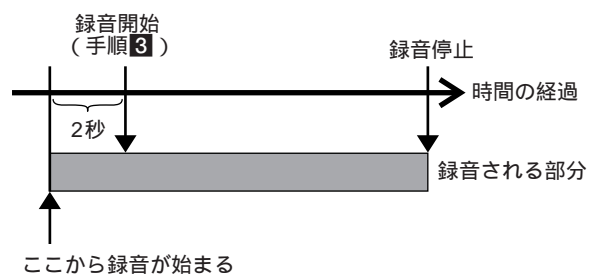
### ご注意

本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしたときは、次に電源を入れると、最後のトラックマーキング機能の設定( LevelSync ONまたはOFF )が記憶されていません。

## 2秒前の音から録音する

(タイムマシン録音)

この操作の手順③を行った時点で、それまで本機に入力されていた音を最大2秒前にさかのぼったところから録音を始めることができます。この機能では、ふつうの録音のように入力されている音を直接録音していくのではなく、入力されている音をいったん本機のメモリーに蓄えて、その音を録音していきます。衛星放送やFM放送などのエアチェックで、録音を始めるタイミングが遅れて頭の部分を録音し損なうのを防ぐのに便利です。



(次ページへ続く)

## いろいろな録音のしかた

- 1 「MDに録音する」(7、8ページ)の  
手順**1**～**5**を行う。  
録音待機状態になります。
- 2 録音したい音源の演奏を始める。
- 3 録音を始めたいところで、AMSつまみを押す。  
(リモコンではT.RECボタンを押します。)  
この手順を行う2秒前にさかのぼって録音を始めます。

タイムマシン録音を止めるときは  
■ボタンを押します。

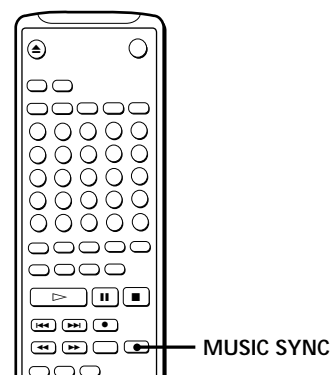
### ご注意

本機は、手順**1**で録音待機状態になった時点から、入力されている音をメモリーに蓄え始めます。録音待機状態になってから2秒以上経過したあとで録音を始めないと、2秒前の音から録音できません。

## 好きな音源をシンクロ録音する

(ミュージックシンクロ録音)

入力端子につないである音源の再生と同時に、自動的に録音を始めることができます。  
曲番の付きかたは録音する音源によって異なります。  
詳しくは「録音するときのご注意」(10ページ)をご覧ください。



- 1 「MDに録音する」(7、8ページ)の  
手順**1**～**4**を行う。
- 2 MUSIC SYNCボタンを押す。  
録音待機状態になります。
- 3 録音したい音源の演奏を始める。  
自動的に録音が始まります。

ミュージックシンクロ録音を止めるときは  
■ボタンを押します。

### ご注意

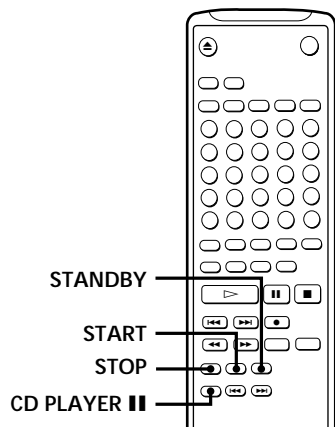
ミュージックシンクロ録音中は、スマートスペース機能とオートカット機能が、設定(ONまたはOFF)および入力(デジタルまたはアナログ)にかかわらず、自動的に働きます。

## シンクロ録音する

(CDシンクロ録音)

ソニーのCDプレーヤーと接続すると、本機のリモコンを使うだけで、簡単にCDの音を録音できます。CDプレーヤーをデジタル入力端子につないでいるときは、「LevelSync ON」または「LevelSyncOFF」にかかわらず自動的に曲番が付きます。CDプレーヤーをANALOG IN端子につないでいるときは、「LevelSync ON」を選ぶと自動で曲番が付きます(13ページ)。

本機のリモコンで本機とCDプレーヤーの両方を操作するので、CDプレーヤーは本機の近くに設置してください。



- 1 アンプの電源を入れ、アンプの入力切り換えでCDを選ぶ。
- 2 「MDに録音する」(7、8ページ)の手順2～4を行う。
- 3 CDプレーヤーで、MDに録音したい演奏方法(プログラム演奏やシャッフル演奏など)を選んでおく。
- 4 STANDBYボタンを押す。  
CDプレーヤーが演奏一時停止、本機が録音待機状態になります。

## 5 STARTボタンを押す。

本機で録音が始まり、CDプレーヤーで演奏が始まります。録音中の曲番と、今録音している曲の録音された時間が表示されます。

CDプレーヤーの演奏が始まらないときはCDプレーヤーの機種によっては、STARTボタンを押しても演奏が始まらない場合があります。そのときは、CDプレーヤーのリモコンの■ボタンを押してください。

## 6 録音を終わらせたいところで、STOPボタンを押す。

シンクロ録音を一時停止するときはSTANDBYまたはCD PLAYER ■ボタンを押します。再び録音を始めるときは、STARTまたはCD PLAYER ■ボタンを押します。録音を一時停止すると、曲番は変わります。

- 💡 シンクロ録音中にCDプレーヤーのリモコンでも操作できます。  
■を押すと、CDプレーヤーは停止し、本機は録音一時停止状態になります。  
■を押すと、CDプレーヤーは一時停止し、本機は録音一時停止状態になります。  
▷を押すと、再びシンクロ録音が始まります。

- 💡 もう1枚のCDを続けて録音できます。  
手順6の代わりに、次の操作をします。  
1 CDプレーヤーのリモコンの■ボタンを押します。  
本機は録音一時停止状態になります。  
2 CDを交換します。  
3 CDプレーヤーのリモコンの▷ボタンを押します。

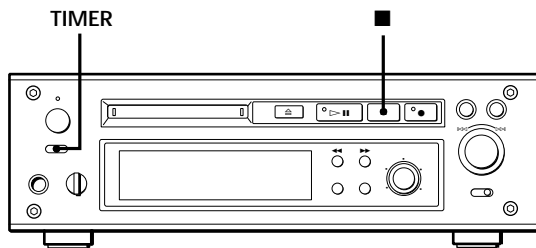
- 💡 本機に付属のリモコンで、ビデオCDプレーヤーとシンクロ録音できます。  
本機に付属のリモコンでは、ソニーのCDプレーヤーまたはビデオCDプレーヤーのどちらかとシンクロ録音するかを切り換えることができます。  
ビデオCDプレーヤーとシンクロ録音するときは、本機に付属のリモコンのPOWERボタンを押しながら、数字ボタンの2を押します。  
CDプレーヤーとシンクロ録音するときは、リモコンのPOWERボタンを押しながら、数字ボタンの1を押します。お買い上げ時は、CDプレーヤーとシンクロ録音できるようになっています。

- 💡 MDの残り時間を確かめることができます。  
DISPLAYボタンを押します(17ページ)。

## いろいろな録音のしかた

### タイマーを使って録音する

市販のタイマーにつなぐと、希望の時刻に録音を始めたり、希望の時刻まで録音して止めたりすることができます。タイマーの取扱説明書もご覧ください。



**1** 「MDに録音する」(7、8ページ)の手順**1**～**6**を行う。

- 2**
- 希望の時刻に録音を始めるときは、**■**ボタンを押す。
  - 希望の時刻まで録音して止めるときは、「MDに録音する」(8ページ)の手順**7**～**8**を行って録音を始める。
  - 希望の時刻に録音を始めて希望の時刻まで録音して止めるときは、**■**ボタンを押す。

**3** 本機のTIMERスイッチを「REC」に合わせる。

**4** タイマーが希望の動作をするように合わせる。

- 希望の時刻に録音を始めるように合わせたときは、本機の電源が切れた後、合わせた時刻になると電源が入り、録音が始まります。
- 希望の時刻まで録音して止めるように合わせたときは、本機はそのまま録音を続け、合わせた時刻になると電源が切れ、録音が止まります。
- 希望の時刻に録音を始めて希望の時刻まで録音して止めるように合わせたときは、本機の電源が切れた後、合わせた開始時刻になると電源が入り、録音が始まります。終了時刻になると電源が切れ、録音が止まります。

**5** タイマーを使って録音した後は、本機のTIMERスイッチを「OFF」に合わせ、タイマーの電源を入れるなどして本機を必ず通電状態にする。

- TIMERスイッチを「REC」のままにしておくと、次に電源が入ったときに自動的に録音が始まってしまいます。
- 本機に通電されない状態が1か月以上続くと、タイマー録音した内容が消えてしまうことがあります。

タイマー録音した後は、1か月以内に必ず本機を通電状態にしてください。

電源を入れたときに、録音された内容がMDに記録されません。通電しないままで時間が経つと、録音された内容は電源を入れても記録できなくなります。この場合は、電源を入れたときに「STANDBY」が点滅します。

#### ご注意

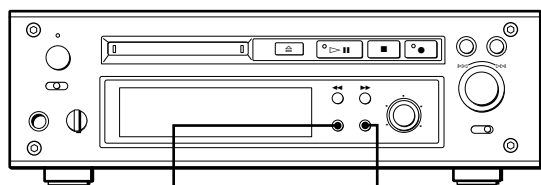
- タイマー録音のときは、録音済み部分の終わりに続けて録音されます。
- タイマー録音で録音した内容は、次に電源を入れたとき、MDに記録されます。このとき、「TOC」が点滅します。この間に本機をゆらしたり、電源プラグを電源コンセントから抜いたりしないでください。
- タイマー録音中にMDの残り時間がなくなったときは、その時点で録音を中止して本機は停止状態になります。



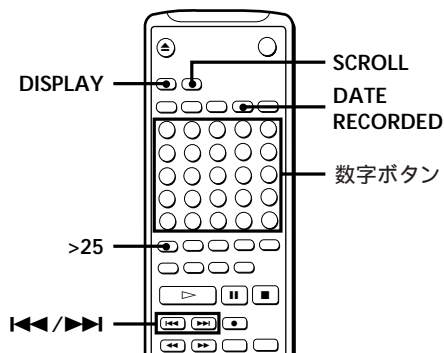
いろいろな再生のしかた

## 表示窓の使いかた

表示窓を使って、MDの全曲数や全再生時間、MDの残り時間、ディスク、録音日時などを調べることができます。

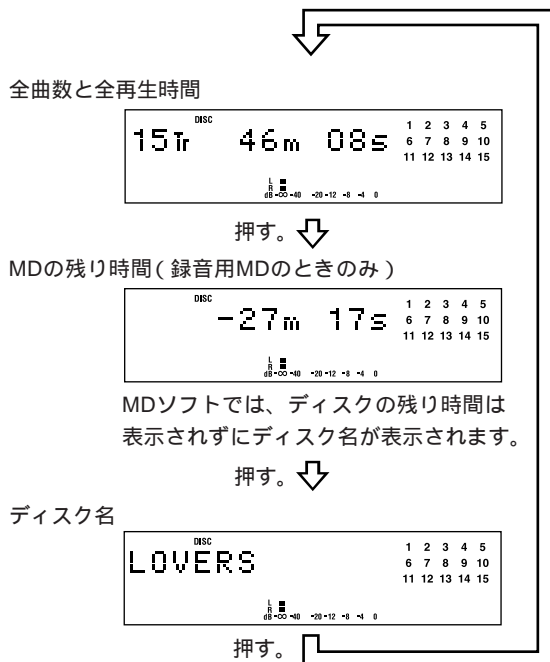


DISPLAY/CHAR SCROLL/CLOCK SET

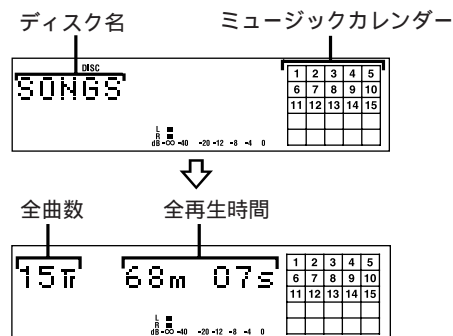


### 全曲数や全再生時間、MDの残り時間、ディスク名を調べる

停止中、DISPLAY/CHARボタンを押す。  
(リモコンではDISPLAYボタンを押します。)  
押すたびに、表示は次のようになります。



また、MDを入れたときにも、全曲数や全再生時間、ディスク名が表示されます。



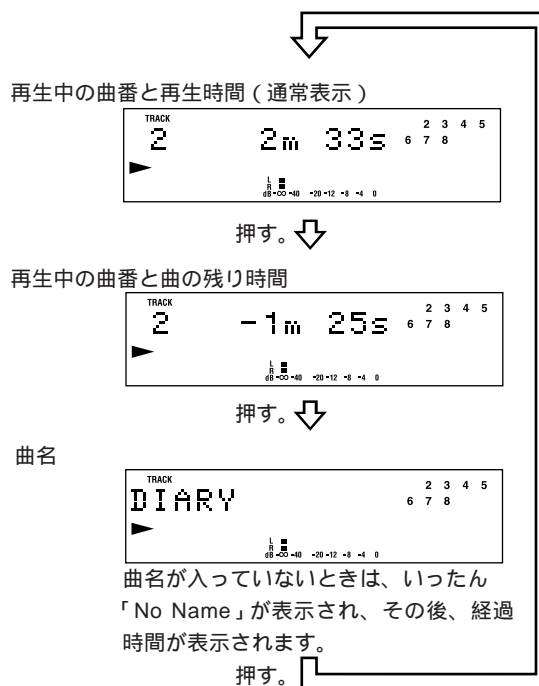
ミュージックカレンダーに曲番が表示されます。市販のMDソフトでは、ミュージックカレンダーには枠が表示されます。録音用MDでは枠が表示されません。25曲以上入っているときは、25の後に▶が表示されます。録音用MDにディスク名を付けるには、「曲名やディスク名を付ける」(28ページ)をご覧ください。

#### ご注意

MDを入れ換えたり、本機の電源を入れなおしても、最後に表示されていた項目が再び表示されます。ただし、電源プラグをコンセントから抜いたときは、次に電源を入れると、最後に表示されていた項目に関係なく、全曲数と全再生時間が表示されます。

### 再生中の曲の残り時間や曲名を調べる

再生中、DISPLAY/CHARボタンを押す。  
(リモコンではDISPLAYボタンを押します。)  
押すたびに、再生中の曲の残り時間または曲名などが、次のように表示されます。再生し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。



(次ページへ続く)

## いろいろな再生のしかた

**💡** 再生中、いつでも曲名を見ることができます。  
 SCROLL/CLOCK SETボタンを押します。  
 (リモコンではSCROLLボタンを押します。)  
 スクロール中にSCROLL/CLOCK SETボタンを押すと、スクロールを止めることができます。もう1回SCROLL/CLOCK SETボタンを押すと、再びスクロールします。

### 録音日時を確認する

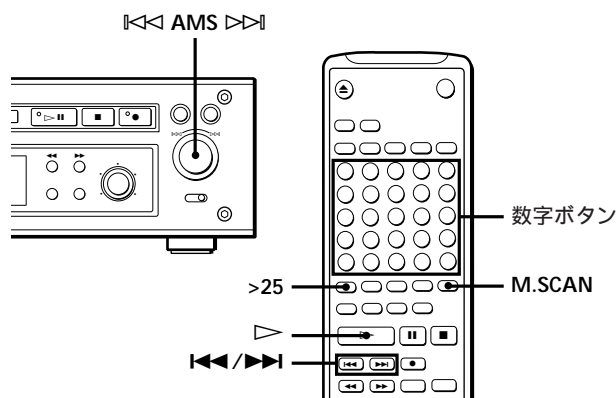
内蔵の時計を合わせておけば、録音した日時がMDに記録されます。再生するときに、録音日時を表示窓で確認できます。



- 1 録音日時を確認したい曲を選ぶ。  
 停止中は、**◀◀**または**▶▶**ボタンで選びます。  
 再生中、再生一時停止中は、**◀◀**または**▶▶**ボタン、数字ボタンで選びます。
- 2 DATE RECORDEDボタンを押す。  
 時計を合わせていないときや、録音日時を記録する機能がない機器で録音した曲のときは、「No Date」が表示されます。


## 聞きたい曲を探す


(AMS / ダイレクト選曲 / ミュージックスキャン)

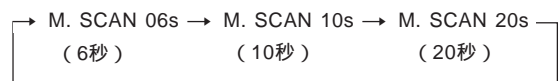
次の5通りの方法があります。AMSとはAutomatic Music Sensorの略です。



探しかた	操作のしかた
次の曲を頭出しする (AMS)	再生中、AMSつまみを右に回す。 (リモコンでは <b>▶▶</b> ボタンを押す。)
再生中の曲または前の曲を頭出しする (AMS)	再生中、AMSつまみを左に回す。 (リモコンでは <b>◀◀</b> ボタンを押す。)
曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲) 	聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
曲番で選ぶ (AMS)	1 停止中、AMSつまみを回し、曲番を選ぶ(曲番が点滅)。 2 AMSつまみまたは <b>▷</b> <b>  </b> ボタンを押す。
各曲の頭を聞いて探す (ミュージックスキャン) 	1 停止中、M.SCANボタンを押す。 2 聞きたい曲になったら、 <b>▷</b> ボタンを押す。

**💡** ダイレクト選曲で、25曲目以降を選ぶときは  >25ボタンを押してから、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタン(1~10)を押します(0は10ボタンを使います)。100曲目以降を選ぶときは、>25ボタンを2度押してから、100の位、10の位、1の位の数という順に数字ボタン(1~10)を押します。  
 例：30曲目を選ぶとき  
 数字ボタンを、>25 → 3 → 10の順に押します。  
 例：100曲目を選ぶとき  
 数字ボタンを、>25 → >25 → 1 → 10 → 10の順に押します。

**💡** ミュージックスキャンで、各曲の再生時間を長くしたいときは  停止中、希望の時間が表示されるまで、M.SCANボタンを押します。  
 各曲の再生時間は6秒または10秒、20秒の中から選べます。押すたびに、表示は次のように変わります。



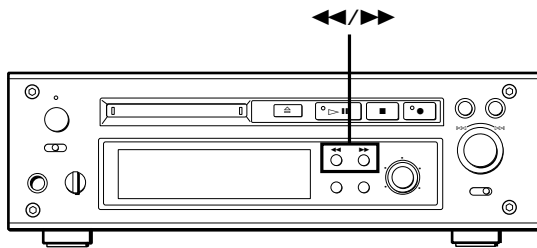
**💡** 曲の頭で一時停止することができます。  
 一時停止中、AMSつまみを回します。  
 (リモコンでは**◀◀**または**▶▶**ボタンを押します。)

**💡** すばやく最後の曲を選べます。  
 全曲数と全再生時間またはMDの残り時間(録音用MDのときのみ)、ディスク名(17ページ)を表示しているときに、AMSつまみを左へ回します。  
 (リモコンでは**◀◀**ボタンを押します。)

## いろいろな再生のしかた

## 曲の中の聞きたい部分を探す (サーチ)

次の2通りの方法があります。



探しかた	操作のしかた
聞きながら探す	再生中、◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。
表示窓の再生時間を見ながら探す (高速サーチ)	一時停止中、◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。 (音は聞こえない。)

💡 高速サーチで、「OVER」と表示されたときは最後の曲の終わりまで進んでしまったので、AMSつまみを左へ回すか、◀◀ボタンを押します。  
(リモコンでは◀◀または▶▶ボタンを押します。)

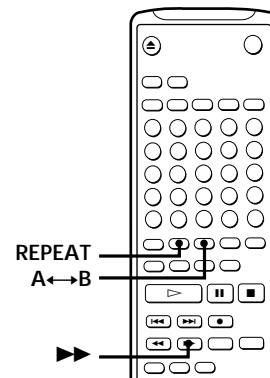
## ご注意

- ・ 聞きながら探している (高速サーチでない) とき、最後の曲の終わりまで進んでしまうと、再生は止まります。
- ・ 数秒の曲が連続している場合、正常にサーチできないことがあります。

繰り返し聞く 

(リピート再生)

全曲を繰り返し聞けます。シャッフルやプログラム再生など繰り返し再生できます。



## REPEATボタンを押す。

「REPEAT」が表示され、次のように繰り返し聞けます。

再生状態	繰り返される内容
ふつうの再生 (9ページ)	全曲を曲番順に
シャッフル再生 (20ページ)	全曲を繰り返すたびに曲順を変えて
プログラム再生 (21ページ)	プログラムした曲順に

リピート再生をやめるときは

「REPEAT」が消えるまで、REPEATボタンを押します。

## 1曲だけを繰り返す (1曲リピート)

ふつうの再生のとき、1曲だけを繰り返し聞けます。

繰り返す曲の再生中、「REPEAT 1」が表示されるまでREPEATボタンを押す。

(次ページへ続く)

## いろいろな再生のしかた

### 聞きたい部分を繰り返し聞く (A⇄Bリピート)

聞きたい部分を指定して、繰り返し聞けます。語学学習や歌詞を覚えるときに便利です。2曲以上にまたがった部分は、繰り返し聞けません。

- 1 再生中、繰り返す部分の始点(A点)で A⇄B ボタンを押す。  
「REPEAT A⇄B」が点滅します。
- 2 再生を続けるか▶▶ボタンで繰り返す部分の終点(B点)まで行き、もう1回A⇄Bボタンを押す。  
「REPEAT A⇄B」が点灯になり、指定した部分を繰り返します。

A⇄Bリピートをやめるときは  
REPEATボタンまたは■ボタンを押します。

繰り返す部分を次に進めるときは  
いままで繰り返していた部分の終点を始点に変えて、繰り返す部分を先に進めることができます。

- 1 A⇄Bリピート中、A⇄Bボタンを押します。  
いま繰り返していた部分の終点(B点)が次の部分の始点(A点)になり、「REPEAT A⇄B」が点滅します。
- 2 再生を続けるか、▶▶ボタンで次に繰り返す部分の終点(B点)まで行き、もう1度A⇄Bボタンを押します。  
「REPEAT A⇄B」が点灯になり、新たに指定した部分を繰り返します。

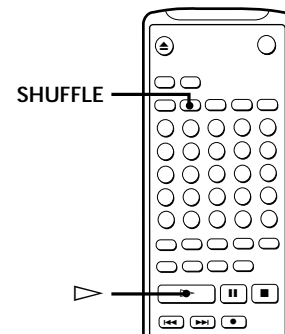
#### ご注意

本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしたときは、次に電源を入れると、最後に選んだりリピート再生の設定が記憶されています。ただし、設定したA⇄Bリピートは消されます。

### 順不同に聞く

#### (シャッフル再生)

全曲を曲番に関係なく、本機がランダム(無作為)に選んで、ひと通り再生します。




- 1 停止中、SHUFFLEボタンを押す。

- 2 ▶ボタンを押す。  
シャッフル再生が始まります。  
次の曲を選んでいる間は、「📻」が表示されます。

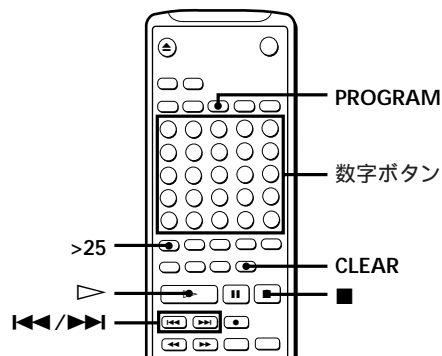
シャッフル再生をふつうの再生に戻すときは  
停止中、CONTINUEボタンを押します。

- 💡 シャッフル再生中に頭出しできます。  
◀◀または▶▶ボタンを押すか、本体のAMSつまみを回します。
  - ・ ▶▶を押すか、本体のAMSつまみを右に回すと、次の曲をシャッフルして再生します。
  - ・ ◀◀を押すか、本体のAMSつまみを左に回すと、再生中の曲の頭に戻って再生します。すでに再生し終わった曲には戻りません。

## いろいろな再生のしかた


聞きたい曲を好きな順に  
聞く  (プログラム再生)


25曲までプログラムできます。



- 1 停止中、PROGRAMボタンを押す。
- 2 聞きたい順に曲番の数字ボタンを押していく。  
選んだ曲がプログラムされます。  
  
25曲目以降を選ぶときは  
>25ボタンを使います(18ページ)。  
  
間違えたときは  
CLEARボタンを押してから、正しい曲番をプログラムします。
- 3 手順2を繰り返して、聞きたい曲を順にプログラムする。  
曲をプログラムするごとに、合計時間が表示されます。最大25曲までプログラムできます。
- 4 ▷ボタンを押す。  
プログラムした順に再生が始まります。

プログラム再生をふつうの再生に戻すときは  
停止中、CONTINUEボタンを押します。

-  同じ曲を繰り返しプログラムできます。  
本体のAMSつまみで曲番を表示させ、プログラムしたい回数だけAMSつまみを押します。

-  プログラムすべての再生が終わっても、作ったプログラムは残っています。  
▷ボタンを押すと、同じプログラムをもう1度聞けます。

## ご注意

- ・ 本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりすると、プログラムは消されます。ただし、タイマー再生時にはプログラムを再生できます。
- ・ 合計時間が「--m--s」と表示されたときはプログラムの合計時間が160分を超えています。

## プログラムの内容を確認する

再生中または再生一時停止中、◀◀または▶▶ボタンを押すか、本体のAMSつまみを回す。  
プログラムの曲順で、曲番が表示されます。

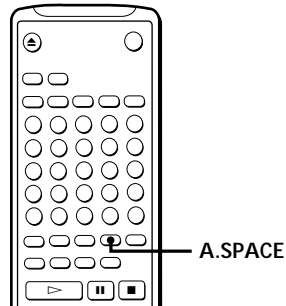
## プログラムの内容を変更する

再生を始める前、プログラムの内容を変更できます。

変更のしかた	操作のしかた
最後の曲から消す	CLEARボタンを押す。 押すたびに、プログラムした最後の曲から消える。
最後に追加する	手順2～3を行う。
すべてを変更する	1 停止中、■ボタンを押す。 プログラムが全部消える。 2 手順2～3を行う。

## いろいろな再生のしかた

### テープへ録音するときに 便利な機能



#### 聞きやすい曲間隔にする (オートスペース機能)

再生時に、曲と曲の間に3秒の空き(スペース)を入れることができます。曲の頭出しのできるテープを作るときに便利です。

「A.SPACE」が表示されるまで、A.SPACEボタンを押す。

オートスペース機能をやめるときは  
「A.SPACE」が消えるまで、A.SPACEボタンを押します。

**ご注意**  
シンフォニーなど、曲間のあきがなく曲番号だけ変わるディスクでオートスペースを使用すると、曲番号が変わるところで音が途切れることがあります。

#### 1曲再生するたびに一時停止する (オートポーズ機能)

1曲再生が終わるたびに、自動的に一時停止します。1曲だけまたは連続しない数曲をテープなどへ録音するときに便利です。

「A.PAUSE」が表示されるまで、A.SPACEボタンを押す。

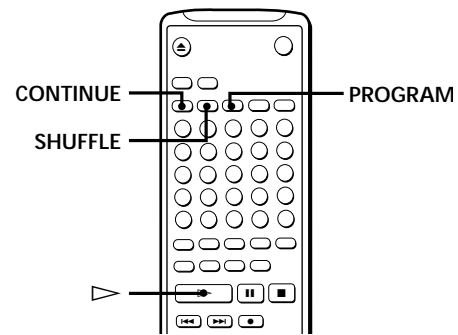
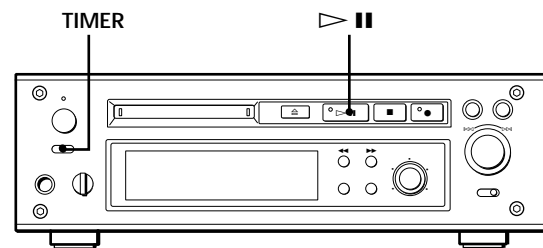
再び再生を始めるときは  
▷または||ボタンを押します。

オートポーズ機能をやめるときは  
「A.PAUSE」が消えるまで、A.SPACEボタンを押します。

**ご注意**  
本機の電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしたときは、次に電源を入れると、最後のオートスペース機能またはオートポーズ機能の設定が記憶されています。

### タイマーを使って再生する

市販のタイマーにつなぐと、希望の時刻に再生を始めたり、希望の時刻まで再生して止めたりすることができます。タイマーの取扱説明書もご覧ください。



- 1 「MDを再生する」(9ページ)の手順 **1** ~ **3** を行う。
- 2 必要に応じて、再生の準備をする。  
リモコンのCONTINUE、SHUFFLE、PROGRAMボタンのどれかを押して、再生の種類を選んでおきます。  
聞きたい曲だけを再生するときには、プログラムを作っておきます(21ページ)。
- 3 希望の時刻まで再生して止めるときは、▷ ||ボタンを押して再生を始める。  
(リモコンでは▷ボタンを押します。)
- 4 本機のTIMERスイッチを「PLAY」に合わせる。

## いろいろな再生のしかた

## 5 タイマーが希望の動作をするように合わせる。

- ・ 希望の時刻に再生を始めるように合わせたときは、本機の電源が切れた後、合わせた時刻になると電源が入り、再生が始まります。
- ・ 希望の時刻まで再生して止めるように合わせたときは、本機はそのまま再生を続け、合わせた時刻になると電源が切れ、再生が止まります。
- ・ 希望の時刻に再生を始めて希望の時刻まで再生して止めるように合わせたときは、本機の電源が切れた後、合わせた開始時刻になると電源が入り、再生が始まります。終了時刻になると電源が切れ、再生が止まります。

## 6 タイマーを使って再生した後は本機のTIMER スイッチを「OFF」に合わせる。

## ご注意

手順②でプログラム再生を選んだときは、電源が入っていない状態で長時間たつと、作ったプログラムが消えることがあります。このときには、曲番順に再生します。

## 録音したMDを編集する

## 編集するときのご注意

編集機能では録音したディスクの好きなところで頭出しができるように曲を途中から分けたり、連続した2つの曲をつないだりして録音後の手直しができます。さらに、曲番を指定するだけで曲をまるごと消したり、ディスクや曲に名前を付けたりすることもできます。

「Protected」が表示されたときはディスクが誤消去防止状態になっていて、編集ができません。ディスクの誤消去防止つまみをずらして孔が閉じた状態にしてから、編集してください。

編集を行った後は、表示窓の「TOC」が点灯していません。ディスクを取り出そうとするか、電源を切ろうとすると、「TOC」が点滅になり、編集した内容をディスクに記録します。「TOC」が点滅中は、編集した内容を記録しているので、本機をゆらしたり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

## 曲を消す (イレース ERASE機能)

消したい曲の曲番を指定するだけで、録音した曲を簡単に消せます。録音したディスクを消すには、次の3通りの方法があります。

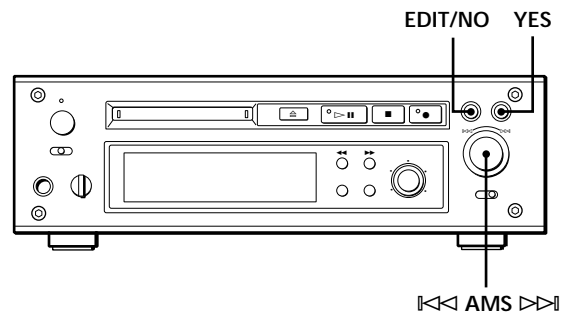
- ・ 1曲ずつ消す
- ・ 1枚のMDのすべての曲を消す
- ・ 1曲中の一部分を消す (A∩B Erase)

消した曲番には次の曲が順に繰り上がり、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

例えば、曲番1を消すと、元の曲番2が1に繰り上がります。

(2曲以上消すときは、途中の曲番が変わらないように、後ろの曲から消すことをおすすめします。)

カセットテープのように録音済みの部分を消しながら録音する必要はありません。



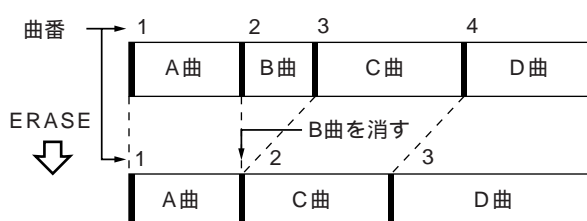
(次ページへ続く)

## 録音したMDを編集する

## 1曲ずつ消す

曲番を指定するだけで、1曲をまるごと消せます。

例) B曲を消すとき



- 1 消す曲の曲番が表示されるまで、AMSつまみを回す。
- 2 「Erase ?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを数回押す。  
ミュージックカレンダーの中の消したい曲の曲番が点滅します。
- 3 YESボタンを押す。  
「Complete」が数秒間表示されて消えると、手順1で選んだ曲が消えます。ミュージックカレンダーでも、1曲分減っています。  
再生していたときは、消した次の曲の再生が始まります。
- 4 続けて曲を消すときは、手順1～3を繰り返す。

曲を消すのを途中でやめるときは  
EDIT/NOまたは■ボタンを押します。またはAMSつまみを回して曲番を変え、表示窓の「Erase ?」を消します。

## ご注意

「Erase!! ?」が表示されたら、その曲は本機以外のMDデッキで録音または編集された後、誤消去防止状態になっています。

それでも消したいときは、この表示が出ている間にYESボタンを押します。

## 1枚のMDのすべての曲を消す

1度に、MDの全曲と全曲名、ディスク名(MDに記録しているすべての内容)を消せます。

- 1 停止中、「All Erase ?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを数回押す。
- 2 YESボタンを押す。  
ミュージックカレンダーの曲番すべてが点滅します。
- 3 もう1回YESボタンを押す。  
「Complete」が数秒間表示されて消えると、MDの全曲と全曲名、ディスク名が消えます。ミュージックカレンダーでは、全曲消えます。

曲を消すのを途中でやめるときは

EDIT/NOまたは■ボタンを押して、表示窓の「All Erase ?」を消します。



消した内容を元に戻せます。

「最後に行った編集操作を取り消す」(31ページ)をご覧ください。

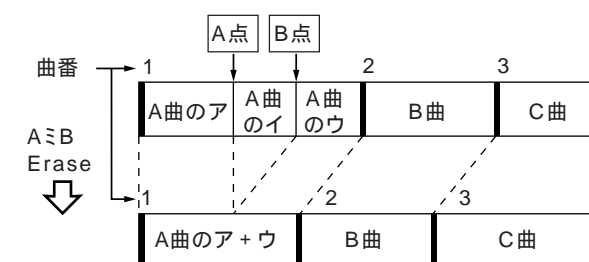
## 1曲中の一部分を消す

(A≒B Erase<sup>イレス</sup>)

1曲中の消したい範囲を指定して、簡単にその部分を消せます。

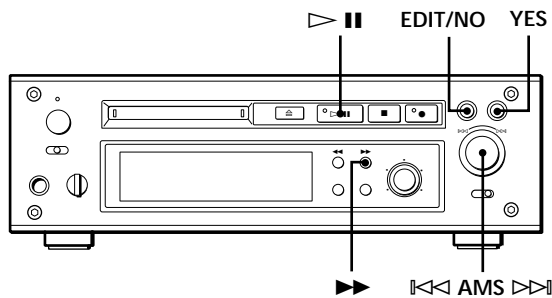
衛星放送やFM放送などを録音したMDの不要な部分を消すのに便利です。

例) A曲の一部分を消すとき





## 録音したMDを編集する



- 1 再生中、消したい部分の始点(A点)で▶▶ボタンを押す。  
(リモコンでは▶▶ボタンを押します。)
- 2 **A**が表示されるまで、EDIT/NO ボタンを数回押す。
- 3 YES ボタンを押す。  
「Rehearsal」と「Point A ok?」が交互に表示され、消したい部分の始点(A点)を繰り返し再生します。
- 4 A点を正しく再生していないときは、EDIT/NO ボタンを押す。  
(正しく再生しているときは、手順7の操作に移ります。)
- 5 繰り返し再生される音を聞きながら、AMSつまみを回して、A点を少しずつずらす。  
「Rehearsal」と「Point A ok?」が交互に表示され、A点を繰り返し再生します。その曲(1曲)の中だけで最大-128から+127まで移動できます(1ステップは約0.06秒)。
- 6 A点を正しく再生していないときは、手順5を繰り返す。
- 7 A点を正しく再生しているときは、YES ボタンまたはAMSつまみを押す。  
「Point B Set」が数秒間表示されて消えると、「▶▶」と「A≡B」が点滅して、B点を設定するための再生が始まります。

- 8 再生を続けるか、▶▶ボタンで消したい部分の終点(B点)まで行き、YES ボタンを押す。  
「Rehearsal」と「Point B ok?」が交互に表示され、A≡B間を消したつなぎ目の部分(A点までの数秒間とB点からの数秒間)を繰り返し再生します。
- 9 B点を正しく再生していないときは、EDIT/NO ボタンを押す。  
(正しく再生しているときは、手順12の操作に移ります。)
- 10 繰り返し再生される音を聞きながら、AMSつまみを回して、B点を少しずつずらす。  
「Rehearsal」と「Point B ok?」が交互に表示され、A≡B間を消したつなぎ目の部分を繰り返し再生します。その曲(1曲)の中だけで最大-128から+127まで移動できます(1ステップは約0.06秒)。
- 11 B点を正しく再生していないときは、手順10を繰り返す。
- 12 B点を正しく再生しているときは、YES ボタンまたはAMSつまみを押す。  
「Complete」が数秒間表示されて消えると、A≡B部分が消えます。

A≡B Eraseを途中でやめるときは  
■ボタンを押します。

## ご注意

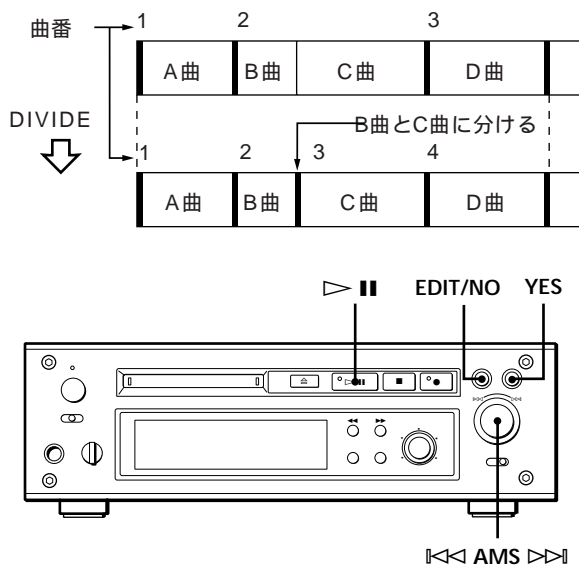
- ・「Impossible」が表示されたら、B点がA点より前に指定されています。B点はA点より後ろにしてください。
- ・「Sorry」が表示されたら、その曲の一部を消すことはできません。  
何度も編集を繰り返すと、一部を消すことができない曲ができる場合があります。これはミニディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

## 録音したMDを編集する

## 曲を分ける (ディバイド (DIVIDE)機能)

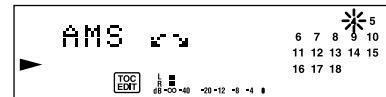
録音後に1曲を2つの曲に分け、新たに頭出しのための曲番を記録します。アナログ録音したMDなどで1つの曲番に複数の曲が録音されている場合や、曲の途中で頭出し点をつくるときに使用します。分けた曲以降の曲番は順に1番ずつ加算され、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

例) 2曲目をB曲とC曲の2つに分けるときの



- 1 再生中、曲を分けるところで、▶ || ボタンを押す。  
(リモコンでは|| ボタンを押します。) 再生一時停止になります。
- 2 「**Div**」が表示されるまで、EDIT/NO ボタンを数回押す。
- 3 YES ボタンを押す。  
「Rehearsal」と「Position ok?」が交互に表示され、分けるところを繰り返し再生します。ミュージックカレンダーでは分ける曲の曲番が点滅します。

- 4 分けるところを正しく再生していないときは、EDIT/NO ボタンを押す。  
(分けるところを正しく再生しているときは、手順7の操作に移ります。)



- 5 繰り返し再生される音を聞きながら、AMS つまみを回して、分けるところを少しずつずらす。  
「Rehearsal」と「Position ok?」が交互に表示され、分けるところを繰り返し再生します。その曲(1曲)の中だけで最大 - 128から + 127まで移動できます(1ステップは約0.06秒)。
- 6 分けるところを再生していないときは、手順5を繰り返す。
- 7 分けるところを正しく再生しているときは、YES ボタンまたはAMS つまみを押す。  
「Complete」が数秒間表示されて消えると、曲が分かれます。分かれ目の次の曲の頭から再生が始まります。分かれた曲に曲名が付いているときは、後の曲には曲名が付きません。ミュージックカレンダーでは、1曲分増えます。

曲を分けるのを途中でやめるときは、■ボタンを押します。

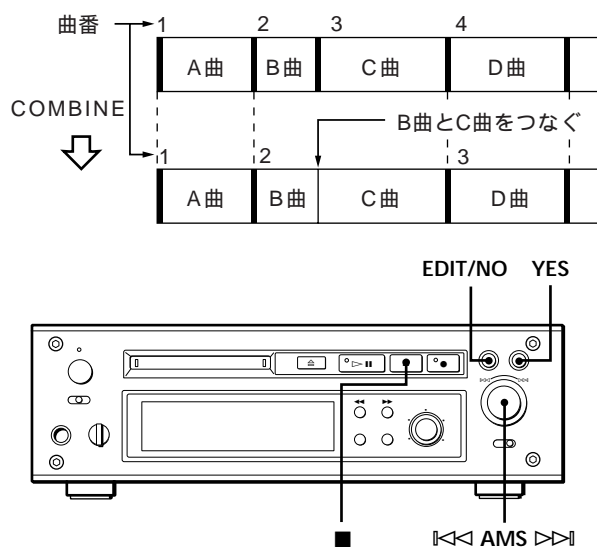
- 💡 1度分けた曲をもとに戻せます。  
COMBINE機能を使って曲をつなぎます(27ページ)。
- 💡 録音中に曲を分けられます。  
トラックマーキング機能を使って曲を分けます(13ページ)。

## 録音したMDを編集する

曲をつなぐ<sup>コンバイン</sup> (COMBINE機能)

連続した2つの曲をつないで1曲にまとめます。いくつかの曲を続けて聞けるようにしたり、何度も停止してコマ切れで録音したものを1つにまとめたりするときなどにお使いください。

例) B曲とC曲をつなぐとき



- 1 つなぐ曲の曲番が表示されるまでAMSつまみを回す。  
表示した曲を1つ前の曲とつなぎます。  
例えば、3曲目と4曲目をつなぐときは、4曲目を表示させます。
- 2 「Combine?」が表示されるまで、EDIT/NO ボタンを数回押す。
- 3 YES ボタンを押す。  
「Rehearsal」と「Track ok?」が交互に表示され、つなぎ目の部分(つなぐ前の曲の終わりと後ろの曲の初め)を繰り返し再生します。  
ミュージックカレンダーでは、つなぐ前の曲の再生中は前の曲番が点滅し、後ろの曲の再生中は後ろの曲番が点滅します。
- 4 つなぎ目の部分を正しく再生していないときは、EDIT/NOまたは■ボタンを押して、手順1からやり直す。  
(つなぎ目の部分を正しく再生しているときは、手順5の操作に移ります。)

- 5 つなぎ目の部分を正しく再生しているときは、YES ボタンを押す。  
「Complete」が数秒間表示されて消えると、曲がつながります。つないだ2曲の両方に曲名が付いているときは、後の曲名は消えます。  
ミュージックカレンダーでは、1曲分減ります。

曲をつなぐのを途中でやめるときはEDIT/NOまたは■ボタンを押します。

💡 つないだ曲をもとに戻せます。  
DIVIDE機能を使って曲を分けます(26ページ)。

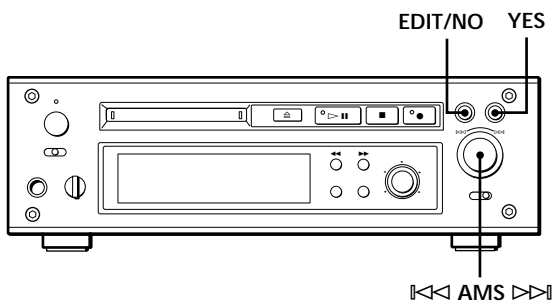
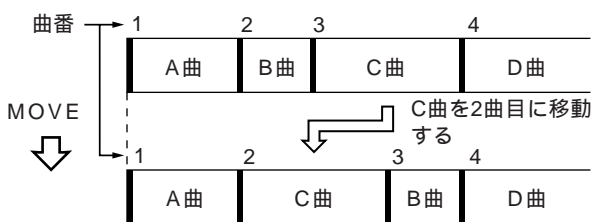
ご注意  
「Sorry」が表示されたら、その2曲は1曲につなぐことができません。  
何度も編集を繰り返すと、つなぐことができない曲ができる場合があります。これはミニディスクのシステム上の制約なので故障ではありません。

録音したMDを編集する

## 曲を移動する (MOVE機能)

ある曲を好きな位置に移動して、曲順を変えることができます。移動後の曲番は、自動的に改めて連続した曲番が付きます。

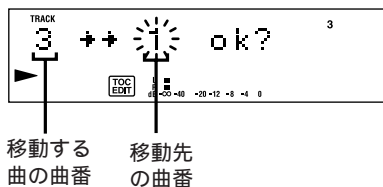
例) C曲を2曲目に移動するとき



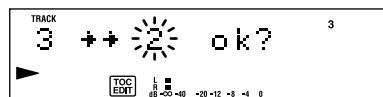
1 移動したい曲の曲番が表示されるまで、AMS つまみを回す。

2 「Move? 」が表示されるまで、EDIT/NO ボタンを数回押す。

3 YES ボタンを押す。



4 移動先の曲番が表示されるまで、AMS つまみを回す。

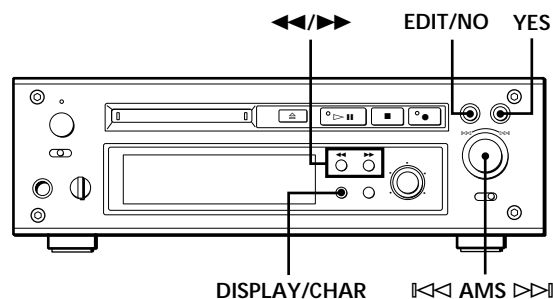


5 YES ボタンまたはAMS つまみを押す。  
「Complete」が数秒間表示されて消えると、曲が移動します。  
再生していたときは、移動した曲が再生されません。

曲を移動するのを途中でやめるときは EDIT/NO または ■ ボタンを押します。

## 曲名やディスク名を付ける (TITLE機能)

アルファベットの太文字や小文字、数字、記号、カタカナを使って、曲名やディスク名を付けることができます。1枚のディスクに計約1700文字を入力できます。この操作は、本体とリモコンの両方で行えます。



再生中または再生一時停止中、録音中、停止中に行ないません。

再生中および録音中は、その曲が終わるまでに曲名を付け終わってください。途中で曲が終わると、それまで入力していた文字は無効になります。

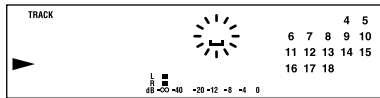
1 「Name」が表示されるまで EDIT/NO ボタンを数回押す。

付けるタイトルが、曲名かディスク名かで、操作するときが異なります。次の表にしたがって操作してください。

付けるタイトル	操作するとき
曲名	再生中、再生一時停止中、録音中、停止中に曲を選んで(曲番を表示して)いるとき
ディスク名	停止中に曲を選んで(曲番を表示して)いないとき

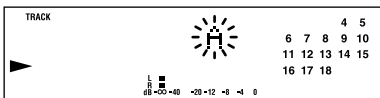
## 録音したMDを編集する

- 2 YES ボタンを押す。  
カーソルが点滅します。



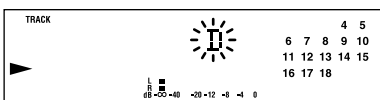
- 3 DISPLAY/CHAR ボタンを押して、文字の種類を選ぶ。

文字の種類	操作のしかた
大文字 アルファベット	「A」が表示されるまで、 DISPLAY/CHARボタンを押す。
小文字 アルファベット	「a」が表示されるまで、 DISPLAY/CHARボタンを押す。
数字	「0」が表示されるまで、 DISPLAY/CHARボタンを押す。
カタカナ	「ア」が表示されるまで、 DISPLAY/CHARボタンを押す。



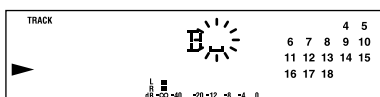
- 4 希望の文字が表示されるまで、AMS つまみを回す。

選んだ文字が点滅します。  
アルファベットの次に数字、記号、カタカナが  
出ます。表示できる記号は以下の通りです。  
! " # \$ % & ' ( ) \* + , - . / : ; < = > ? @ \_ ` `   
カタカナでは、通常の五十音に加え、小文字の  
アイウエオヤユヨツ、および" (濁点)、° (半濁  
点)を表示できます。



文字の種類を変えたいときは、DISPLAY/  
CHARボタンを押します(手順3参照)。

- 5 AMS つまみを押す。  
手順4で選んだ文字が点灯になり、次の位置で  
カーソルが点滅します。



- 6 手順3～5を繰り返して、希望の  
タイトルを表示させる。

間違えた文字を修正するときは  
◀◀または▶▶ボタンで間違えた文字を点滅させ、手  
順3～5を繰り返します。

文字を消すときは  
◀◀または▶▶ボタンで消したい文字を点滅させ、  
EDIT/NOボタンを押します。

1文字分空けるときは  
カーソルが点滅した状態のまま、AMSつまみまたは  
▶▶ボタンを押します。

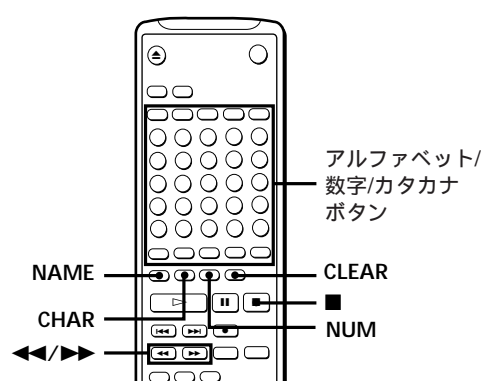
- 7 YES ボタンを押す。  
曲名またはディスク名が付きます。  
曲名またはディスク名が最初から表示されます。

タイトルを付けるのを途中でやめるときは  
■ボタンを押します。

ご注意  
録音済み部分を消しながら録音しているときは、録音中、曲  
名を付けることはできません。

## 録音したMDを編集する

## リモコンで曲名やディスク名を付ける



- 1 NAMEボタンを押す。  
カーソルが点滅します。  
付けるタイトルが、曲名かディスク名かで、操作するときが異なります。次の表にしたがって操作してください。

付けるタイトル	操作するとき
曲名	再生中、再生一時停止中、録音中、停止中に曲を選んで(曲番を表示して)いるとき
ディスク名	停止中に曲を選んで(曲番を表示して)いないとき

- 2 CHARまたはNUMボタンを押して、文字の種類を選ぶ。

文字の種類	操作のしかた
大文字 アルファベット	「Selected ABC」が表示されるまで、CHARボタンを押す。
小文字 アルファベット	「Selected abc」が表示されるまで、CHARボタンを押す。
数字	「Selected 123」が表示されるまで、NUMボタンを押す。
カタカナ	「Selected カナ」が表示されるまで、CHARボタンを押す。

- 3 希望の文字のアルファベット / 数字 / カタカナボタンを押す。

アルファベット / 数字を選んだとき  
押したボタンの文字が表示され、次の位置でカーソルが点滅します。

カタカナを選ぶとき

- 1 希望の文字があるボタン(アイウエオ、カキクケコなど)を押します。
- 2 希望の文字が表示されるまで、手順1で選んだボタンを押します。
- 3 ▶▶ボタンを押します。  
次の位置でカーソルが点滅します。

- 4 手順2と3を繰り返して、希望のタイトルを表示させる。

間違えた文字を修正するときは

◀◀または▶▶ボタンを使って間違えた文字を点滅させ、CLEARボタンを押してから手順2と3を繰り返します。

- 5 もう1回NAMEボタンを押す。  
曲名またはディスク名が最初から表示されます。

タイトルを付けるのを途中でやめるときは  
■ボタンを押します。

## 録音したMDを編集する

## 曲名やディスク名を変更する

- 1 NAMEボタンを押す。  
曲名またはディスク名が表示されます。  
変更するタイトルが、曲名かディスク名かで、操作するときが異なります。次の表にしたがって操作してください。

変更するタイトル	操作するとき
曲名	再生中、再生一時停止中、停止中に曲を選んで(曲番を表示して)いるとき
ディスク名	停止中に曲を選んで(曲番を表示して)いないとき

- 2 消すタイトルの文字がすべて消えるまで、CLEARまたは本体のEDIT/NOボタンを押す。
- 3 曲名やディスク名を付け直す。  
「曲名やディスク名を付ける」の手順3～6(28、29ページ)を行うか、または、「リモコンで曲名やディスク名を付ける」の手順2～4(30ページ)を行います。
- 4 NAMEボタンを押す。

## すべての曲名とディスク名を消す

(Name Erase 機能)

1度に、ディスク中のすべての曲名やディスク名を消せます。

- 1 停止中、「All Erase?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを押す。
- 2 もう1回EDIT/NOボタンを押す。  
「Name Erase?」が表示されます。
- 3 YESボタンを押す。  
すべての曲名とディスク名が消えます。

すべての曲名とディスク名を消すのを途中でやめるときは■ボタンを押します。

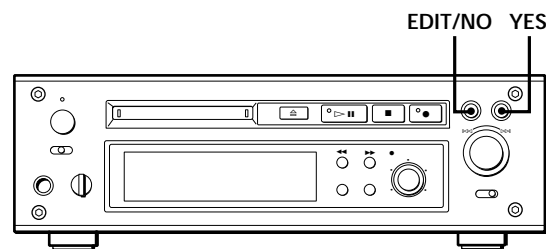
☛ 消した名前を元に戻せます。  
「最後に行った編集操作を取り消す」(31ページ)をご覧ください。

☛ 1枚のMDの内容(曲と曲名、ディスク名)をすべて消せます。  
「1枚のMDのすべての曲を消す」(24ページ)をご覧ください。

## 最後に行った編集操作を取り消す(UNDO機能)

最後に行った編集操作を取り消し、その前のMDの内容に戻します。ただし、編集後に次のいずれかの操作をすると取り消せません。

- ・ 本体前面の●ボタンを押す。
- ・ リモコンの●ボタン、MUSIC SYNCボタン、CD-SYNCのSTANDBYボタンを押す。
- ・ 電源を切ったり、MDを取り出したりして、編集した内容を記録する。
- ・ 電源プラグをコンセントから抜く。



1 停止中、曲番が表示されていないときに、「Undo?」が表示されるまで、EDIT/NOボタンを数回押す。  
編集操作をしていないときは、「Undo?」は表示されません。

2 YESボタンを押す。  
最後に行った編集操作に応じて、次のメッセージが表示されます。

編集操作	メッセージ
1曲を消す	
1枚のMDのすべての曲を消す	「Erase Undo?」
1曲中の一部分を消す	
曲を分ける	「Divide Undo?」
曲をつなぐ	「Combine Undo?」
曲を移動する	「Move Undo?」
曲名やディスク名を付ける	
曲名やディスク名を変更する	「Name Undo?」
すべての曲名とディスク名を消す	

3 もう1回YESボタンを押す。  
「Complete」が約2秒間表示され、編集前のMDの内容に戻ります。

編集操作を取り消すのを途中でやめるときはEDIT/NOまたは■ボタンを押します。

## その他

### 使用上のご注意

#### 設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- ぐらついた台の上や不安定な所。
- じゅうたんや布団の上。
- 湿気の多い所、風通しの悪い所。
- ほこりの多い所。
- 直射日光が当たる所、温度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。  
(チューナーやテレビ、ビデオデッキと併用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナのときに起こりやすいので屋外アンテナの使用をおすすめします。)

#### 音量を調節するときは

MDはアナログカセットテープに比べ、非常に雑音が少なくなっています。アナログカセットテープのときのように音のない部分で雑音を聞きながら音量を調節すると、思わぬ大音量が出て、スピーカーを破損するおそれがあります。再生を始める前には音量を必ず小さくしておきましょう。

#### ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽をお楽しみになるときは、となり近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓をしめたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



#### 結露について

寒いときにお部屋の暖房を入れた直後など、本機の内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。そのままでは、正常に働かないばかりでなく、MDや部品もいためてしまいます。本機をご使用にならないときは、MDを取り出しておくことをお勧めします。

結露が生じたときは、電源を入れたまま、しばらくの間(約1時間)放置し、再度電源を入れ直してからご使用ください。もし何時間たっても正常に動作しない場合は、サービス窓口にご連絡ください。

#### お手入れのしかた

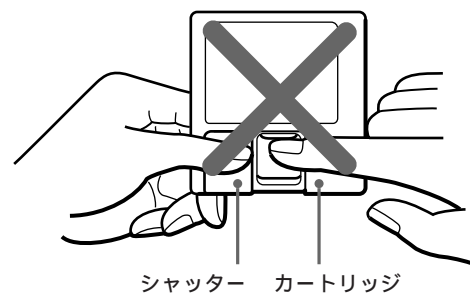
キャビネットやパネル面の汚れは、中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

### MDの取り扱いかた

MDはカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に取り扱えるようになっています。ただし、カートリッジの汚れやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

#### 内部のディスクに直接触れないでください

シャッターを無理に開けようすると、こわれることがあります。



#### 置き場所について

直射日光が当たるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。

#### 定期的にお手入れを

カートリッジ表面についたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。



## メッセージ表示一覧

お使いになっているとき、状況により、英語のメッセージが出ます。日本語の意味は下の表のとおりです。

メッセージ	意味
Blank Disc	購入したばかりの録音用MD、または全曲を消去した録音用MDが入っている。
Cannot Copy	デジタル録音できない状態になっている(「デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて」37ページ)。
Cannot EDIT	PROGRAM、SHUFFLE再生の状態編集しようとした。
Disc Error	異常なく損傷している、TOCが入っていない)MDが入っている。 購入したばかりの録音用MDの場合は、全曲を消去してから使う(「1枚のMDのすべての曲を消す」24ページ)。
Disc Full	MDの残り時間がないため、録音できない(「システム上の制約について」このページ)。
Impossible	MDの1曲目で「Combine」しようとした。1曲目では「Combine」の操作ができない。 「A⇄B Erase」でB点をA点より前に指定しようとした。B点はA点より後ろにしか指定できない。
Name Full	入っている曲名とディスク名が最大値に達した。約1700文字しか入れることができない。
NO DISC	MDが入っていない。
No Track	曲は入っていないが、ディスク名だけが付いているMDが入っている。
Protected	MDが誤消去防止状態になっている。
Retry	録音中、振動やMDの傷があったので、記録し直している。
Retry Error	録音中、振動やMDの傷がいくつもあったため、記録し直しが連続し、正常に録音できない。
Sorry	つなぐことができない曲や部分をつなごうとした。
STANDBYの点滅	前回は録音した内容が正しくMDに記録されていない。または前回に使ったときの再生状態などを本機が記憶していない。

## システム上の制約について

MD(ミニディスク)システムは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 最大録音可能時間(60分、74分)に達していなくても、「Disc Full」が表示される。  
MDシステムでは、時間に関係なく、曲数がいっぱいになると「Disc Full」の表示が出ます。255曲以上は録音できません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消すか、2枚目のMDに分けて録音してください。
- 曲数にも録音時間にも余裕があるのに、「Disc Full」が表示される。  
曲中にエンファシス情報などの入切が多く行われると、曲の区切りと同じ扱いになり、時間や曲数に関係なく「Disc Full」の表示が出ます。
- 短い曲を何曲消してもMDの残り時間が増えない。  
MDの残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視するので、短い曲を消しても時間が加算されないことがあります。
- つなぐことができない場合がある。  
編集を行ってできた曲は、つなぐことができない場合があります。
- MDに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分)に一致しない場合がある。  
通常、1クラスタ(約2秒)が最小単位で録音されます。それに満たないものでも2秒分のスペースを使います。このため、実際に使用できる時間は少なくなります。  
また、MDに傷があると、その部分を自動的に削除するので、その分の時間が減ります。
- 編集でできた曲でサーチを行うと、音が途切れることがある。
- 曲番が正確につかないことがある。  
デジタル接続でCDを録音するとき、CDの録音内容によって、短い曲ができる場合があります。  
また、LevelSync ONで自動的にトラックマーキングを行った場合、録音するものの内容によっては、曲番が正確につかない場合があります。
- 「TOC Reading」の表示がなかなか消えない。  
購入したばかりの録音用MDを入れると、通常より「TOC Reading」表示が長く表示されます。
- 何度も繰り返し編集したMDでは、再生中に曲の途中で音が途切れることがある。

## その他

- 録音済みの部分を消しながら録音すると  
MDの残り時間が正確に表示されないことがあります。  
何度も繰り返すと、消しながら録音できなくなることがあります。  
このようなときは、編集(曲を消すなど)を行ってから録音してください。  
録音した時間に対して、録音後の残り時間が、録音前の残り時間よりもかなり減ってしまうことがあります。  
曲の途中のノイズなどをこの方法で消すと、曲の長さが変わったりしてしてしまうので適しません。  
録音中に曲名を付けることができません。
- モノラルフォーマットのディスクでは時間が正確に表示されないことがあります。

シンクロ録音できない。

- ➔ 付属のリモコンのリモコンモードがCDプレーヤーまたはビデオCDプレーヤーにあっていません。  
CDプレーヤーとシンクロ録音するときは、リモコンのPOWERボタンを押しながら数字ボタンの1を押ししてください。  
ビデオCDプレーヤーとシンクロ録音するときは、リモコンのPOWERボタンを押しながら数字ボタンの2を押ししてください。

雑音が多い。

- ➔ テレビなどから充分離しておいてください。

上記のどの処置でも正常に動作しない場合は、電源プラグをはずし、再度電源プラグを入れ直してください。

## 故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう1度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

操作を受けつけない。

- ➔ MDが汚れている、または損傷している(「Disc Error」が表示される)ので新しいMDと取り替えてください。

再生できない。

- ➔ 結露(内部に水滴が付着)しているのでMDを取り出して、そのまま数時間置いてください。
- ➔ 電源を入れてください。
- ➔ MDの矢印の向きに合わせて差し込んでください。
- ➔ 何も録音されていないMDが入っている(ミュージックカレンダーが出ない)ので、録音されているMDと取り替えてください。

録音できない。

- ➔ MDが誤消去防止状態になっている(「Protected」が表示される)ので、MDの誤消去防止つまみをもどして孔を閉じてください。
- ➔ 音源と正しく接続されていないので接続し直してください。
- ➔ アナログ入力(ライン入力)時に録音レベルが小さすぎるので、REC LEVELつまみで録音レベルを調節してください。
- ➔ 録音用ディスクと取り替えてください。
- ➔ 残り時間が充分ある録音用ディスクと取り替えてください。または、不要な曲を消してください。
- ➔ 録音中に電源コードが抜かれた、または停電になったため、それまでの録音の内容は失われる恐れがあります。正常に録音できていないときは、はじめから録音し直してください。

## 保証書とアフターサービス

### 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

### アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にある近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間の経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ミニディスクデッキの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

## その他

ご相談になるときは次のことをご知らせください。

- 型式：MDS-J3000
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日

## 主な仕様

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
ディスク	ミニディスク
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー使用)
レーザー	半導体レーザー(λ=780nm)
録音再生時間	最大74分(MDW-74使用時)
回転数	約400rpm~900rpm(CLV)
エラー訂正方式	アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード(ACIRC)
サンプリング周波数	44.1kHz
コーディング	アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング(ATRAC)
変調方式	EFM
チャンネル数	ステレオ2チャンネル
周波数特性	5~20,000Hz±0.3dB
SN比	再生時100dB以上
ワウフラッター	測定限界値(±0.001% W. PEAK)以下

### 入力端子

端子名	端子形状	入力インピーダンス	基準入力レベル	最小入力レベル
ANALOG IN	ピンジャック	47k	500 mVrms	125 mVrms
DIGITAL OPTICAL IN1	角形光コネクタージャック	発光波長 660nm		
DIGITAL OPTICAL IN2	角形光コネクタージャック	発光波長 660nm		
DIGITAL COAXIAL IN	ピンジャック	75	0.5Vp-p, 720%	

### 出力端子

端子名	端子形状	出力レベル	負荷インピーダンス
PHONES	ステレオ標準ジャック	10mW	32
ANALOG OUT	ピンジャック	2Vrms (50k 時)	10k 以上
DIGITAL OPTICAL OUT	角形光コネクタージャック	-18dBm	発光波長 660nm

### 電源・その他

電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	11W
最大外形寸法	280×92.5×380mm (幅/高さ/奥行、最大突起部含む)
質量	約 5.3kg

### 付属品

4ページをご覧ください。

### 別売りアクセサリ

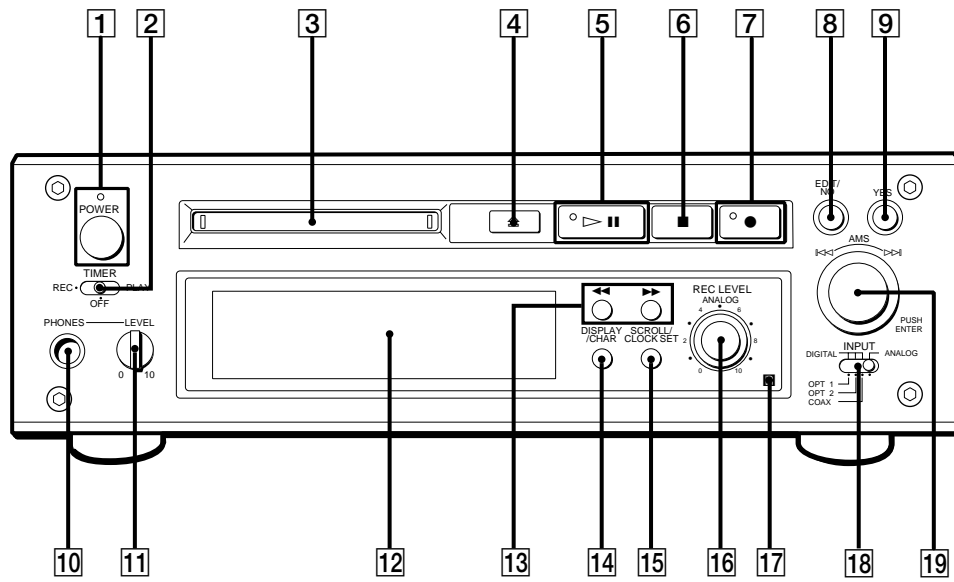
光デジタル接続ケーブル POC-15Aなど  
同軸デジタル接続ケーブル VMC-10Gなど  
録音用MD(生ディスク)  
MDW-60(60分用)、MDW-74(74分用)

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

その他

各部のなまえ



- ① POWERスイッチ/ランプ  
パワー
- ② TIMERスイッチ  
タイマー
- ③ MD挿入口
- ④ 合 (MD取り出し) ボタン
- ⑤ ▷ || (再生/一時停止) ボタン/ランプ
- ⑥ ■ (停止) ボタン
- ⑦ ● (録音) ボタン/ランプ  
エディット/ノー
- ⑧ EDIT/NOボタン  
イエス
- ⑨ YESボタン

- ⑩ PHONES端子  
フォーンズ
- ⑪ PHONES LEVELつまみ  
フォーンズ レベル
- ⑫ 表示窓
- ⑬ ◀▶ (早戻し/早送り) ボタン  
ディスプレイ/キャラクター
- ⑭ DISPLAY/CHARボタン  
スクロール/クロックセット
- ⑮ SCROLL/CLOCK SETボタン  
レック レベル
- ⑯ REC LEVELつまみ
- ⑰ リモコン受光部  
インプット
- ⑱ INPUTスイッチ  
エーエムエス
- ⑲ AMSつまみ

## デジタルオーディオソフトをコピーするときのルールについて

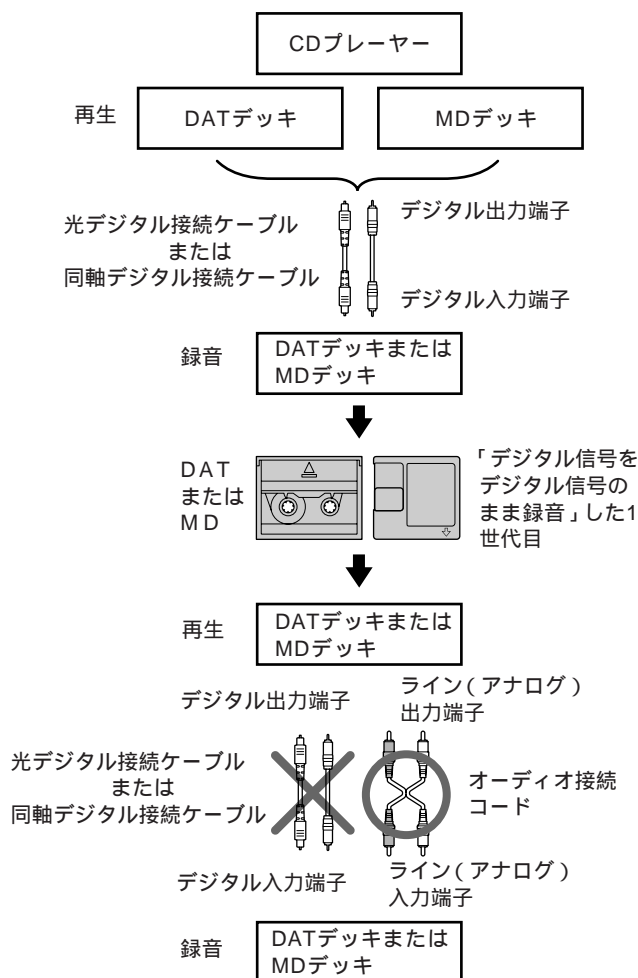
デジタル入力で録音したデジタルオーディオテープ (DAT) またはミニディスク (MD) から、さらにデジタル入力で録音できません。本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することを「1世代まで」と規制したものです。以下の3つの原則があります。

ただし、DATデッキまたはMDデッキをアナログ入出力端子につないだときは、何回でも録音できます。

### 原則1

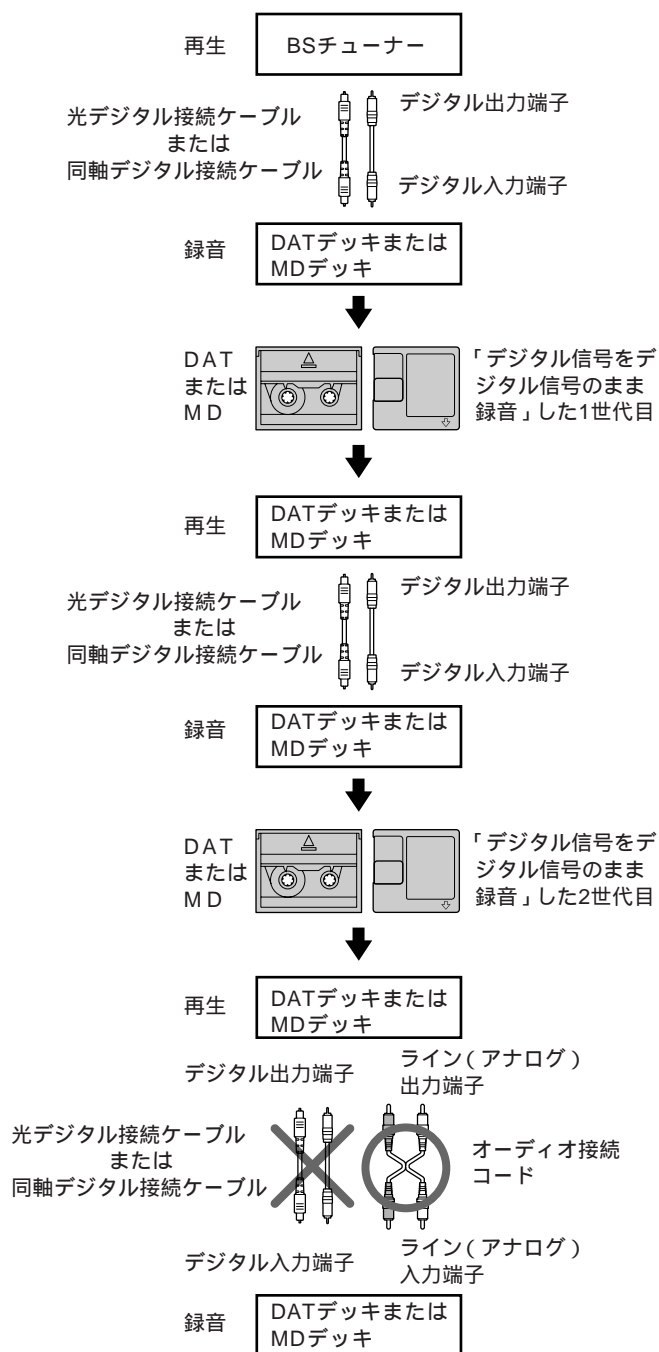
コンパクトディスク (CD) またはデジタルオーディオテープ (DAT)、ミニディスク (MD) から、DAT または MD へ「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。

ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したもからさらに、他のDATやMDへ、「デジタル信号のままデジタル録音」できません。



### 原則2

DATデッキまたは32kHz、48kHzのサンプリング周波数に対応するMDデッキの場合、衛星放送のデジタル音声信号も、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。この場合は、2世代目も「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できます。ただし、BSチューナー(衛星放送受信機)によっては、2世代目ができないことがあります。

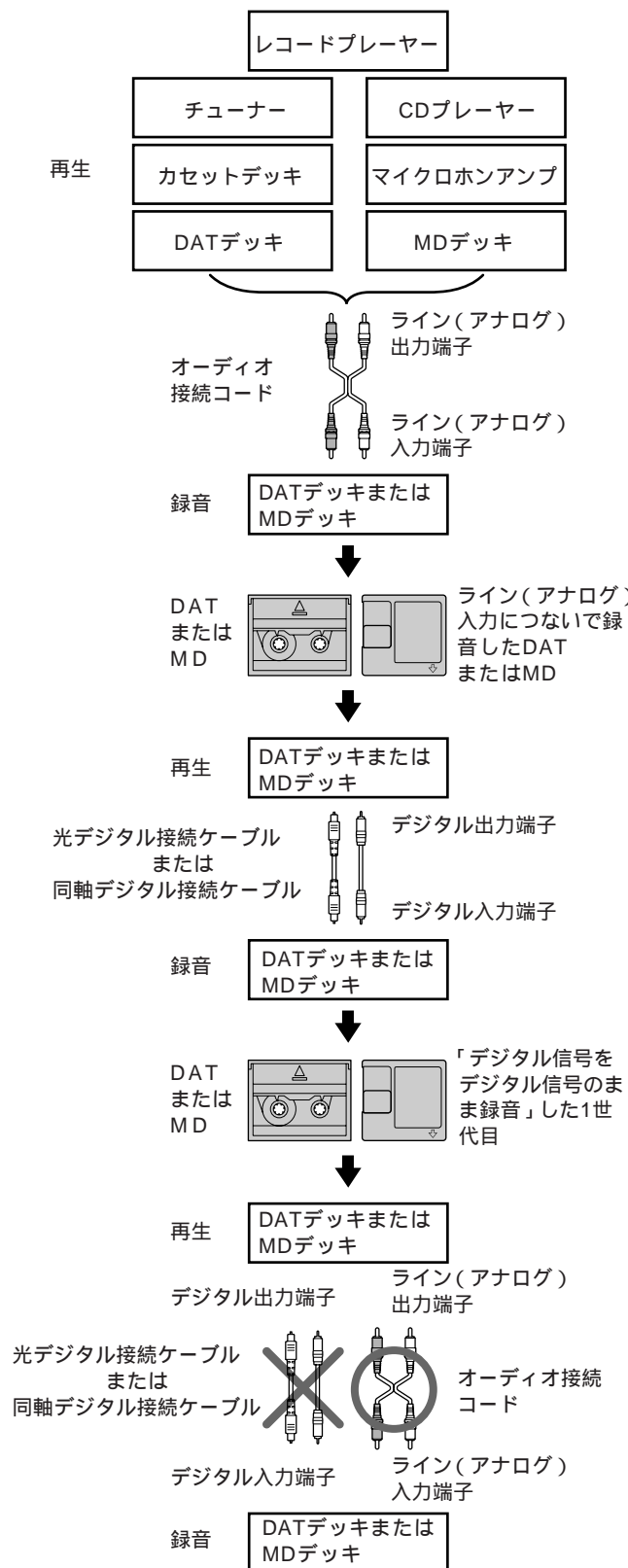


(次ページへ続く)

その他

原則3

アナログレコードやFM放送などを録音したDATまたはMDから、他のDATまたはMDへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」することができます。ただし、1度「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」したDATまたはMDから、さらに他のDATまたはMDへ、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」できません。



## 索引

## 索引

## 五十音順

## あ行

- 一時停止 8、9
- 移動する(ムーブ機能) 28
- インプットモニター機能 11
- オートカット機能 11
- オートスペース機能 22
- オートポーズ機能 22
- お手入れ 32
- 主な仕様 35

## か行

- 繰り返し聞く
  - 1曲リピート 19
  - リピート再生 19
  - A Bリピート 20
- 消す(イレース機能)
  - 1曲ずつ消す 24
  - 1曲中の一部分を消す(A&Bイレース) 24
  - 1枚のMDのすべての曲を消す 24
- コード
  - オーディオ接続コード 4、5、37、38
  - 同軸デジタル接続ケーブル 4、5、37、38
  - 光デジタル接続ケーブル 4、5、37、38
- 故障かな?と思ったら 34
- 誤消去防止つまみ 8

## さ行

- サーチ 19
- 再生
  - 曲番を選んで再生する 9
  - 再生する 9
- サンプリング周波数 5、37
- サンプリングレートコンバーター 5
- システム上の制約 33
- シャッフル再生 20
- シリアルコピーマネージメントシステム 10、37
- スマートスペース機能 11
- 接続
  - アナログ接続 5
  - デジタル接続 5

## た行

- タイマー
  - 再生 22
  - 録音 16
- タイムマシン録音 13
- ダイレクト選曲 18
- つなぐ(コンバイン機能) 27
- 時計
  - 合わせ直す 6
  - 合わせる 6
  - 見る 6
- トラックマーキング機能
  - オートトラックマーキング 13
  - マニュアルトラックマーキング 13

## な行

- 名前を付ける(タイトル機能)
  - すべての曲名とディスク名を消す 31
  - 名前を変更する 31
  - 本体で名前をつける 28
  - リモコンで名前を付ける 30

## は行

- 表示窓
  - 曲数を調べる 17
  - 時間を調べる 10、17
  - 名前を調べる 17、18
  - 録音日時を確認する 18
- 付属品 4
- プログラム再生
  - 再生のしかた 21
  - プログラム内容の確認 21
  - プログラム内容の変更 21
- 別売りアクセサリ 35
- 編集操作
  - 最後の編集操作を取り消す 31

## ま行

- ミュージックスキャン 18
- メッセージ表示 33

## ら行

- リモコン
  - 電池を入れる 4
- 録音
  - 曲を消しながら録音する 12
  - ミュージックシンクロ録音 14
  - 録音した曲を確認する 11
  - 録音時の注意 10
  - 録音する 7、8
  - 録音レベル調節 12

## わ行

- 分ける(ディバイド機能) 26

## アルファベット順

- エーエムエス AMS 18
- シーディー CDシンクロ録音 15
- レベル シンクロ LEVEL-SYNC 10、13
- エムディー MD(ミニディスク)
  - 入れる 7、9
  - 再生用MD(MDソフト) 17
  - 取り扱いかた 32
  - 取り出す 8、9
  - 録音用MD 7、17
- トック TOC 8、10、16、23

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111

Printed in Japan